

立教大学諸規程集

立教大学編

第2編 学則

立教大学大学院学則

施行	昭和 26 年4月 1日	改正	昭和 55 年4月 1日	改正	2002 年4月 1日
改正	昭和 28 年4月 1日		昭和 56 年4月 1日		2003 年4月 1日
	昭和 29 年4月 1日		1982 年4月 1日		2004 年4月 1日
	昭和 30 年4月 1日		1983 年4月 1日		2005 年4月 1日
	昭和 31 年4月 1日		1984 年4月 1日		2006 年4月 1日
	昭和 33 年4月 1日		1985 年4月 1日		2007 年4月 1日
	昭和 35 年4月 1日		1986 年4月 1日		2008 年4月 1日
	昭和 36 年4月 1日		1987 年4月 1日		2009 年4月 1日
	昭和 37 年4月 1日		1988 年4月 1日		2010 年4月 1日
	昭和 38 年4月 1日		1988 年4月 2日		2011 年4月 1日
	昭和 39 年4月 1日		1989 年4月 1日		2012 年4月 1日
	昭和 40 年4月 1日		1990 年4月 1日		2013 年4月 1日
	昭和 41 年4月 1日		1991 年4月 1日		2014 年4月 1日
	昭和 42 年4月 1日		1991 年 10 月 11 日		2015 年4月 1日
	昭和 44 年4月 1日		1992 年4月 1日		2016 年4月 1日
	昭和 46 年4月 1日		1993 年4月 1日		2017 年4月 1日
	昭和 47 年4月 1日		1994 年4月 1日		2018 年4月 1日
	昭和 48 年4月 1日		1995 年4月 1日		2019 年4月 1日
	昭和 49 年4月 1日		1996 年4月 1日		2020 年4月 1日
	昭和 50 年4月 1日		1997 年4月 1日		2021 年4月 1日
	昭和 51 年4月 1日		1998 年4月 1日		2022 年4月 1日
	昭和 52 年4月 1日		1999 年4月 1日		2023 年4月 1日
	昭和 53 年4月 1日		2000 年4月 1日		2024 年4月 1日
	昭和 54 年4月 1日		2001 年4月 1日		

第1章 総 則

(目的)

第1条 本大学院は、学部における一般的並びに専門的教養の基礎の上に、専門の学術を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。

2 研究科ごとの、人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的は、別表8のとおりとする。

(課程)

第2条 本大学院は、修士課程、博士課程とする。

2 修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業等を担うための卓越した能力を培うものとする。

3 博士課程は、専攻分野について研究者として自立して研究活動を行い、又はその他の高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基礎となる豊かな学識を養うものとする。

4 削除

(研究科、専攻等)

第2条の2 本大学院の修士課程及び博士課程の研究科及び専攻は次のとおりとする。

文学研究科

英米文学専攻
史学専攻
教育学専攻
日本文学専攻
フランス文学専攻
ドイツ文学専攻
比較文明学専攻
超域文化学専攻

経済学研究科

経済学専攻

理学研究科

物理学専攻
化学専攻
数学専攻
生命理学専攻

社会学研究科

社会学専攻

法学研究科

法学政治学専攻

観光学研究科

観光学専攻

コミュニティ福祉学研究科

コミュニティ福祉学専攻

ビジネスデザイン研究科

ビジネスデザイン専攻

社会デザイン研究科

社会デザイン学専攻

異文化コミュニケーション研究科

異文化コミュニケーション専攻

経営学研究科

経営学専攻
国際経営学専攻

現代心理学研究科

心理学専攻
臨床心理学専攻
映像身体学専攻

キリスト教学研究科

キリスト教学専攻

人工知能科学研究科

人工知能科学専攻

スポーツウエルネス学研究科
スポーツウエルネス学専攻

- 2 削除
- 3 削除

(課程の区分と修業年限)

第3条 本大学院の標準修業年限は、修士課程2年、博士課程5年とし、博士課程は、これを2年の前期課程及び3年の後期課程に区分する。

- 2 前期課程は、これを修士課程として取り扱う。
- 3 第1項にかかわらず、キリスト教学研究科キリスト教学専攻博士課程前期課程のうち実務経験を有する者を対象としたコースの標準修業年限は1年とする。

(収容定員)

第4条 本大学院の研究科及び専攻の収容定員は、次のとおりとする。

- 1 削除
- 2 博士課程

研究科	専攻	前期課程		後期課程		合計
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員	
文学研究科	英米文学専攻	18名	36名	3名	9名	45名
	史学専攻	15名	30名	6名	18名	48名
	教育学専攻	10名	20名	3名	9名	29名
	日本文学専攻	20名	40名	8名	24名	64名
	フランス文学専攻	8名	16名	3名	9名	25名
	ドイツ文学専攻	8名	16名	3名	9名	25名
	比較文明学専攻	10名	20名	5名	15名	35名
	超域文化学専攻	5名	10名	3名	9名	19名
	計	94名	188名	34名	102名	290名
経済学研究科	経済学専攻	40名	80名	5名	15名	95名
理学研究科	物理学専攻	20名	40名	4名	12名	52名
	化学専攻	20名	40名	4名	12名	52名
	数学専攻	5名	10名	3名	9名	19名
	生命理学専攻	15名	30名	4名	12名	42名
	計	60名	120名	15名	45名	165名
社会学研究科	社会学専攻	20名	40名	10名	30名	70名
法学研究科	法学政治学専攻	20名	40名	8名	24名	64名
観光学研究科	観光学専攻	20名	40名	8名	24名	64名
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	15名	30名	5名	15名	45名
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻	90名	180名	5名	15名	195名
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	50名	100名	5名	15名	115名
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻	20名	40名	5名	15名	55名
経営学研究科	経営学専攻	10名	20名	5名	15名	35名
	国際経営学専攻	50名	100名	—	—	100名
	計	60名	120名	5名	15名	135名
現代心理学研究科	心理学専攻	10名	20名	3名	9名	29名
	臨床心理学専攻	15名	30名	4名	12名	42名
	映像身体学専攻	15名	30名	4名	12名	42名
	計	40名	80名	11名	33名	113名
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	10名	20名	5名	15名	35名
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻	63名	126名	8名	24名	150名
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学専攻	10名	20名	5名	15名	35名
合計		612名	1,224名	134名	402名	1,626名

第4条の2 削除

(修士課程並びに前期課程の修了要件及び修士の学位の専攻分野)

第5条 修士課程又は前期課程に2年以上在学して授業を受け、所定の単位数を修得し、かつ、学位論文の作成等に対する指導(以下「研究指導」という。)を受けた上、修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に修士の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、第3条第3項に規定するコース及び優れた業績を上げた者については、修士課程又は前期課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の場合において、当該修士課程又は前期課程の目的に応じ適当と認められるときは、特定の課題についての研究の成果の審査をもって修士論文の審査に代えることができる。

3 本大学院において授与する修士の学位の専攻分野名を次のとおりとする。

研究科	専攻	専攻分野名
文学研究科	英米文学専攻	文学
	史学専攻	
	教育学専攻	教育学
	日本文学専攻	文学
	フランス文学専攻	
	ドイツ文学専攻	
	比較文明学専攻	比較文明学
経済学研究科	超域文化学専攻	文学
	経済学専攻	経済学 会計学
理学研究科	物理学専攻	理学
	化学専攻	
	数学専攻	
	生命理学専攻	
社会学研究科	社会学専攻	社会学
法学研究科	法学政治学専攻	法学
		政治学
観光学研究科	観光学専攻	観光学
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	コミュニティ福祉学
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻	経営管理学
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	社会デザイン学
		公共・社会デザイン学
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻	異文化コミュニケーション学
経営学研究科	経営学専攻	経営学
	国際経営学専攻	国際経営学
		公共経営学
現代心理学研究科	心理学専攻	心理学
	臨床心理学専攻	臨床心理学
	映像身体学専攻	映像身体学
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	神学
		文学
		実践神学
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻	人工知能科学
スポーツウェルネス学研究科	スポーツウェルネス学専攻	スポーツウェルネス学

(博士課程の修了要件及び博士の学位の専攻分野)

第6条 博士課程に5年(修士課程を修了した者にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学して授業を受け、所定の単位数を修得し、かつ、研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については博士課程に3年(修士課程を修了した者にあつては当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

2 標準修業年限が1年以上2年未満の修士課程を修了した者、及び前条第1項のただし書きの規定による在学期間をもって修士課程を修了した者の博士課程の修了要件は、博士課程に修士課程における在学期間に3年を加えた期間以上在学し、研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については博士課程に3年(修士課程における在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

3 専門職学位課程を修了した者が博士課程の後期課程に入学した場合は、博士課程後期課程に3年(法科大学院の課程を修了した者にあつては2年)以上在学し、研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については、博士課程後期課程に1年(標準修業年限が1年以上2年未満の専門職学位課程を修了した者については、博士課程の3年から当該専門職学位課程の標準修業年限を減じた期間)以上、在学すれば足りるものとする。

- 4 前3項の規定にかかわらず、第20条第5号の規定により、大学院への入学資格に関し修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、博士課程後期課程に入学した場合は、博士課程後期課程に3年以上在学し、研究指導を受けた上、博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、優れた研究業績をあげた者については博士課程に1年以上在学すれば足りるものとする。
- 5 前4項の規定にかかわらず、本大学院の博士課程を経ないで論文を提出し博士の学位を請求した者で、論文の審査及び最終試験に合格し、かつ、専攻学術に関し、前4項の規定により本大学院の博士課程を修了した者と同様に広い学識を有することを確認された者に、博士の学位を授与することができる。
- 6 本大学院において授与する博士の学位の専攻分野名を次のとおりとする。

研究科	専攻	専攻分野名
文学研究科	英米文学専攻	文学
	史学専攻	
	教育学専攻	教育学
	日本文学専攻	文学
	フランス文学専攻	
	ドイツ文学専攻	
	比較文明学専攻	比較文明学
	超域文化学専攻	文学
経済学研究科	経済学専攻	経済学 会計学
理学研究科	物理学専攻	理学
	化学専攻	
	数学専攻	
	生命理学専攻	
社会学研究科	社会学専攻	社会学
法学研究科	法学政治学専攻	法学
		政治学
観光学研究科	観光学専攻	観光学
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	コミュニティ福祉学 スポーツウエルネス学
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻	経営管理学
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	社会デザイン学
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻	異文化コミュニケーション学
経営学研究科	経営学専攻	経営学
現代心理学研究科	心理学専攻	心理学
	臨床心理学専攻	臨床心理学
	映像身体学専攻	映像身体学
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	神学
		文学
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻	人工知能科学
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学専攻	スポーツウエルネス学

(学位論文等の審査及び試験)

第7条 学位論文及び特定の課題についての研究の成果の審査並びに最終試験等については、別に定める。

(最長在学年数)

第8条 本大学院における最長在学年数は、修士課程及び前期課程にあつては4年、後期課程にあつては6年とする。

(研究室)

第9条 本大学院の目的を達成し、学生の研究指導を行うため、各研究科にその専攻部門に応じて研究室を置く。

2 研究室に関する規程は、別に定める。

(学年及び学期)

第10条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

2 学年を分けて次の2期とする。

春学期 4月1日から9月19日まで

秋学期 9月20日から翌年3月31日まで

(休業日)

第11条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）で規定する休日

(3) 本大学創立記念日 5月5日

(4) 春季休業 2月上旬から3月下旬まで

(5) 夏季休業 7月下旬から9月中旬まで

(6) 冬季休業 12月下旬から翌年1月上旬まで

2 前項の休業日を変更し、又は臨時に休業日を定めることがある。

第2章 教育課程

(教育方法)

第12条 本大学院の教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行うものとする。

(教育方法の特例)

第12条の2 次の研究科に、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行う修士課程及び博士課程を置き、次の専攻を置く。

経済学研究科	経済学専攻	前期課程
経営学研究科	経営学専攻	前期課程
観光学研究科	観光学専攻	前期課程
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻	博士課程
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	博士課程
人工知能科学研究科	人工知能科学専攻	博士課程
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	博士課程
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学専攻	博士課程

(履修方法等)

第13条 各研究科における授業科目及び各科目の単位数並びに研究指導等の履修方法並びに第5条第1項及び第6条第1項において定める修得すべき単位数は、各研究科においてこれを定め、別表1のとおりとする。

(単位の認定)

第14条 授業科目を履修した者に対しては、試験の上、その合格者に所定の単位を与える。

(他大学院等における授業科目の履修及び研究指導)

第15条 各研究科において教育研究上有益と認めるときは、本学の平和・コミュニティ研究機構及び他大学院とあらかじめ協議の上、同機構及び当該大学院において履修した授業科目（外国の大学院が行う通信教育における授業科目を国内において履修する場合、外国の大学院の教育課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であつて、文部科学大臣が別に指定するものの当該教育課程における授業科目を国内において履修する場合及び国際連合大学の教育課程における授業科目を履修する場合を含む。）について修得した単位を、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 各研究科において教育研究上有益と認めるときは、学生が本大学院に入学する前に、大学院において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を、本大学院に入学した後の本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

3 各研究科において教育研究上有益と認めるときは、他大学院等とあらかじめ協議の上、後期課程の学生が当該大学院等において研究指導を受けることを認めることができる。

4 第1項、第2項及び第28条の規定により修得した授業科目の単位を、本大学院の修了に必要な単位数として算入する場合は、次の各号に掲げる単位数を超えないものとする。ただし、次の各号により、算入することができる単位数は、合わせて20単位を超えないものとする。

(1) 第1項及び第28条の規定により修得した授業科目の単位 合わせて15単位

(2) 第2項の規定により他大学院において修得した授業科目の単位 15単位

(教育職員免許状の種類)

第15条の2 各研究科専攻において取得できる教育職員免許状の種類及び免許教科は、次のとおりとする。

研究科	専攻	種類・教科		
		中学校教諭 専修免許状	高等学校教諭 専修免許状	その他 専修免許状
文学研究科	英米文学専攻	英語	英語	小学校
	史学専攻	社会	地理歴史, 公民	
	教育学専攻	社会	公民	
	日本文学専攻	国語	国語	
	フランス文学専攻	フランス語	フランス語	
	ドイツ文学専攻	ドイツ語	ドイツ語	
	比較文明学専攻	社会(2018年度 入学者まで)	公民(2018年度 入学者まで)	
超域文化学専攻	社会	地理歴史, 公民		
経済学研究科	経済学専攻	社会	地理歴史, 公民, 商業	
理学研究科	物理学専攻	理科	理科	
	化学専攻	理科	理科	
	数学専攻	数学	数学	
	生命理学専攻	理科	理科	
社会学研究科	社会学専攻	社会	公民	
法学研究科	法学政治学専攻	社会	公民	
観光学研究科	観光学専攻	社会	公民, 商業(2016年度 入学者まで)	
コミュニティ福祉学 研究科	コミュニティ福祉学専攻	社会	公民, 福祉 (2022年度入 学者まで)	
		保健体育 (2022年度入 学者まで)	保健体育 (2022年度入 学者まで)	
社会デザイン学 研究科	社会デザイン学 専攻	社会	公民	
異文化コミュニケーション 研究科	異文化コミュニケーション 専攻	英語, 社会(2015年度 入学者まで)	英語, 公民(2015年度 入学者まで)	
経営学研究科	経営学専攻	社会(2018年度 入学者まで)	公民(2018年度 入学者まで)	
現代心理学研究科	心理学専攻		公民(2018年度 入学者まで)	
	臨床心理学専攻		公民(2018年度 入学者まで)	
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	社会, 宗教	地理歴史, 公民, 宗教	
スポーツウエルネス学 研究科	スポーツウエルネス学 専攻	保健体育	保健体育	

第3章 教員組織

(教員組織)

第16条 本大学院の授業及び研究指導担当教員は、原則として本大学教授、准教授又は講師を充てる。

2 研究科委員長の要請により、特別任用教員及び助教を充てることができる。

(大学院委員会)

第17条 本大学院に総長、研究科委員長及び研究科委員中の若干名をもって組織する大学院委員会を置き、次の事項を審議する。

- (1) 学位の授与に関する事項
- (2) 大学院学則及び諸規程の変更に関する事項
- (3) その他大学院に関する重要事項

2 総長は、大学院委員会を招集し、その議長となる。

(研究科委員会)

第18条 本大学院の各研究科に、その授業及び研究指導担当の専任教員をもって組織する研究科委員会を置き、次の事項を審議する。

- (1) 研究科委員長及び大学院委員会委員の選出並びに担当教員の人事に関する事項
- (2) 入学試験、学位論文の審査及び最終試験に関する事項
- (3) 教育課程、入学、休学、再入学、退学及び除籍に関する事項
- (4) 学生の賞罰に関する事項
- (5) その他研究科に関する事項
- (6) 総長の諮問事項

2 研究科委員長の要請により、特別任用教員及び助教を加えることができる。

3 研究科委員長は、研究科委員会を招集し、その議長となる。

4 その他研究科委員会の構成及び運営に関わる事項については立教大学教授会規程を準用する。

第18条の2 日本語教育センターに所属する特別外国人学生については、日本語教育センター運営会議(「以下「運営会議」という。)を第18条第1項に規定する研究科委員会とみなして第36条の2を適用する。この場合において、規定中「研究科委員会」とあるのは「日本語教育センター運営会議」とする。

2 前項のほか、日本語教育センター運営会議その他の日本語教育センター科目の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第4章 入学、休学、復学、再入学、退学及び除籍

(修士課程及び前期課程への入学)

第19条 修士課程又は前期課程に入学を許可する者は、次の各号の一に該当し、かつ、選抜試験に合格し所定の手続を完了した者とする。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構において、学士の学位を取得した者
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 日本国内において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学等(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上の課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

(後期課程への進学又は編入学)

第20条 後期課程に進学又は編入学を許可する者は、次の各号の一に該当し、かつ、選抜試験に合格し所定の手続を完了した者とする。

- (1) 修士の学位を有する者

- (2) 専門職学位を有する者
- (3) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 外国の学校、学校教育法施行規則第156条第3号の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 本大学院において、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したもの

(入学の時期)

第21条 入学の時期は、学年又は学期の初めとする。

2 第36条の2に規定する特別外国人学生の入学時期は、各年の4月1日又は9月1日とすることができる。

3 第38条の5に規定する短期プログラム受講生の受入時期は、別に定める細則による。

(入学志願手続)

第22条 入学志願者は、別表2による入学検定料を納入し、所定の手続をしなければならない。

(入学手続)

第23条 選抜試験に合格した者で本大学院に入学しようとする者は、保証人を定め、所定の期日までに保証人届出書を提出し、その他指定された手続をしなければならない。

2 本大学院は、前項の手続を完了した者に対して入学を許可する。

(休学及び退学等)

第24条 病気その他の事由によって休学又は退学しようとする者は、保証人連署をもって願い出て、許可を受けなければならない。なお、その事実を証明する書面の提出を求めることがある。

2 休学の期間は、当該学期間とし在学年数に算入しない。

3 休学回数は、通算して修士課程及び博士課程前期課程は4回、博士課程後期課程は6回を超えることができない。

4 休学者は、第2項により休学した期間終了後、学期の初めにおいて復学する。

5 第1項により退学した者が再入学を願い出たときは、学年又は学期の初めにおいて許可することがある。再入学を許可された者は、前条に規定する手続をしなければならない。

(除籍)

第25条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

(1) 第8条に規定する最長在学年数を超えた者

(2) 学費を納めない者

第25条の2 入学、休学、再入学及び退学の許可並びに除籍は、研究科委員会の議を経て、総長が行う。

第5章 留学

第26条 本大学院の学生が本大学院との間にあらかじめ学生の相互交流を目的とする協定、又は本大学院からの留学に関する協議が成立している外国の大学、又はこれに相当する高等教育機関等及び本学が認めた同等の大学、機関の授業科目を履修し、又は研究指導を受けるため当該大学等への留学を希望するときは、審査の上、本人の教育上有益であると認める場合、これを許可することがある。

2 前項による留学は、本大学院における学籍上の扱いを在学のままとする留学（以下「在学留学」という。）及び休学とする留学（以下「休学留学」という。）の2種とする。

第27条 在学留学の許可を受けた者については、その許可を受けた期間を本大学院における在学年数に算入する。

- 第28条** 在学留学の許可を得た者が、留学した大学等において修得した単位又は成果のうち、研究科委員会が適当と認めたものは、本大学院の課程の修了に必要な単位数に算入することができる。ただし、算入することができる単位数は、第15条第4項第1号のとおりとする。
- 2 休学留学の許可を得た者が、留学した大学等において修得した単位又は成果のうち、研究科委員会が適当と認めたものは、本大学院の単位として認定することができる。

第6章 学費その他

- 第30条** 選抜試験に合格した者で本大学院に入学しようとする者は、別表3の1及び別表3の2による学費を指定された入学手続期間内に納めなければならない。
- 2 学生は別表3の2による学費を毎学年授業開始後の指定の期日までに納めなければならない。
- 3 第1項及び前項に定める学費のうち授業料及び実験・実習費は、春学期・秋学期に分納するものとする。
- 4 学費とは、入学金、授業料（在籍料を含む。）及び実験・実習費をいう。

第31条 学費は、休学中も別に定める額を納めなければならない。

第32条 学年の途中で退学する場合も、学費は別に定める額を納めなければならない。

- 第33条** 既に納めた学費その他の納入金は、次項及び第3項に定めた場合を除いて、返還しない。
- 2 選抜試験に合格し学費その他の納入金を納めた者のうち、やむを得ない事由により、所定の手続きに則り入学辞退願を提出した者については、入学金を除く学費その他の納入金を返還するものとする。
- 3 出願時に卒業見込みや所定単位修得見込みなどで選抜試験に合格し、学費その他の納入金を納めた後に、卒業不可や所定単位未修得などが確定し、入学資格要件を満たすことができなくなった者には、届け出により入学金を含む学費その他の納入金を返還するものとする。

第34条 在学中の学費その他について変更のあった場合には、新たに定められた額に基づいて納めなければならない。

第35条 証明書等の交付を受ける者は、別表4による手数料を納めなければならない。

第36条 学費滞納者には、当該年次の単位認定、研究指導の認定及び学位の授与を行わない。

第6章の2 特別外国人学生

(特別外国人学生)

第36条の2 本大学院と協定のある外国の大学から派遣される学生及び政府その他の機関から本大学院に委託される外国人学生は、研究科委員会等の審査の上、特別外国人学生として入学を許可することができる。

第36条の3 入学を許可された特別外国人学生は、所定の手続をし、かつ、別に定める納入金を納めなければならない。

(単位の認定)

第36条の4 特別外国人学生が履修した授業科目については、所定の単位を与えることができる。

(学則の準用)

第36条の5 特別外国人学生については、第5条及び第6条第1項から第4項までを除き本学則を準用する。

第36条の6 前4条に定めるほか、特別外国人学生の受入に関して必要な事項は、立教大学学則及び立教大学大学院学則に定める特別外国人学生の受入に関する細則に定める。

第7章 特別聴講学生、特別研究学生、科目等履修生、研究生、法務研究生、研修生、短期プログラム受講生

(特別聴講学生)

第37条 本大学院と協定のある他大学院学生が、本大学院の授業科目の学修を願い出るときは、特別聴講学生として許可することができる。

- 2 前項により聴講を許可された者は、別表5による特別聴講料を納入し、所定の手続をしなければならない。
- 3 特別聴講学生が、その聴講した科目に合格した場合には、所定の単位を与えることができる。

(特別研究学生)

第37条の2 本大学院が教育研究上有益と認めるときは、他大学院等の学生の研究指導を受託し、特別研究学生として学修を許可することができる。

- 2 削除
- 3 本条で規定した以外の事項については、別に定める規程による。

(科目等履修生)

第38条 各研究科所定の授業科目中その1授業科目又は数授業科目の学修を願い出る者に対して、選考の上、科目等履修生として学修を許可することができる。

- 2 公共団体又はその他の機関より本大学院の授業科目の学修を委託された者に対して選考の上、科目等履修生として学修を許可することができる。
- 3 科目等履修生として学修を願い出る者は、別表6による選考料を納めなければならない。
- 4 科目等履修生として学修を許可された者は、別表6による登録料、受講料及び委託料を納めなければならない。
- 5 科目等履修生が、その履修した授業科目に合格した場合には、所定の単位を与えることができる。
- 6 本条で規定した以外の事項については、別に定める細則による。

(研究生)

第38条の2 大学院博士課程後期課程の正規の学生の研究に支障のない範囲において、次の者を選考の上、研究生として受け入れを許可することができる。ただし、専任の職務についている者は除くものとする。

- (1) 本大学院の博士課程後期課程において所定の研究指導を受け、博士の学位を取得した者で、引き続き研究を希望する者
- (2) 本大学院の博士課程後期課程において所定の研究指導を受け、在学6年経過後に退学した者で、引き続き研究を希望する者
- 2 前項により研究生として受け入れを許可された者は、別表7による登録料を納入し、所定の手続をしなければならない。

(法務研究生)

第38条の3 本専門職大学院の法務研究科を修了し、法務博士の学位を取得した者で、引き続き、法曹になるための能力を養おうとする者を、選考の上、法務研究生として受け入れることができる。

- 2 前項により法務研究生として受け入れを許可された者は、別表7の2による登録料を納入し、所定の手続をしなければならない。

(研修生)

第38条の4 本大学院の博士課程前期課程において所定の研究指導を受け、修士の学位を取得し、本大学院の博士課程後期課程への進学の準備をする者を、大学院博士課程前期課程の正規の学生の研究に支障のない範囲において選考の上、研修生として受け入れを許可することができる。

- 2 前項により研修生として受け入れを許可された者は、別表7による登録料を納入し、所定の手続をしなければならない。

(短期プログラム受講生)

第38条の5 主に海外の大学院等の高等教育機関に在籍する学生で、各研究科が本学で実施する短期間の教育プログラムに参加を願い出る者に対して、短期プログラム受講生として受入を許可することができる。

- 2 短期プログラム受講生が履修した授業科目に合格した場合には、所定の単位を与えることができる。

第39条 削除

(学則の準用)

第40条 特別聴講学生, 特別研究学生, 科目等履修生, 研究生及び研修生については, 第5条, 第6条第1項から第4項までを除き本学則を準用する。

第40条の2 短期プログラム受講生については, 第5条, 第6条第1項から第4項まで及び第25条の2を除き本学則を準用し, 第38条の5で規定した以外の事項については, 別に定める細則による。

第8章 改廃

(改廃)

第41条 本学則の改廃は, 順次, 大学院委員会, 理事会の議を経て, 総長が行う。

2 前項に係る主務官庁への届出又は申請は, 主務官庁の定めるところによる。

附 則

本学則に規定する事項のほかは立教大学学則を準用する。

本学則は, 昭和26年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和28年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和29年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和30年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和31年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和33年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和35年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和36年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和37年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和38年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和39年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和40年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和41年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和42年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和44年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和46年4月1日から施行する。

附 則

本学則は, 昭和47年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 48 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 49 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 50 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 51 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 52 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 53 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 54 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 55 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、昭和 56 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1982 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1983 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1984 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1985 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1986 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1987 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1988 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1988 年 4 月 2 日から施行し、第 38 条の 2 の現定は、1988 年 4 月 1 日から適用する。

附 則
本学則は、1989 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1990 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1991 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1991 年 10 月 11 日から施行し、1991 年 7 月 1 日から適用する。

附 則
本学則は、1992 年 4 月 1 日から施行する。

附 則
本学則は、1993年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1994年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1995年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1996年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1997年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1998年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、1999年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2000年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2001年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2002年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2003年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2004年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2005年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2006年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2007年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2008年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2009年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2010年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2011年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2012年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2013年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2014年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2015年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2016年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2017年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2018年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2019年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2020年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2021年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2022年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2023年4月1日から施行する。

附 則
本学則は、2024年4月1日から施行する。

別表1 (第13条関係)

1 大学院文学研究科

文学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法について次のとおり定める。

(1) (ア) 英米文学専攻 (前期課程)

英米文学研究方法論 1	2	米文学特殊研究 3A	2
英米文学研究方法論 2	2	米文学特殊研究 3B	2
英文学特殊研究 1A	2	米文学特殊研究 4A	2
英文学特殊研究 1B	2	米文学特殊研究 4B	2
英文学特殊研究 2A	2	米文学特殊研究 5A	2
英文学特殊研究 2B	2	米文学特殊研究 5B	2
英文学特殊研究 3A	2	米文学特殊研究 6A	2
英文学特殊研究 3B	2	米文学特殊研究 6B	2
英文学特殊研究 4A	2	米文学特殊研究 7A	2
英文学特殊研究 4B	2	米文学特殊研究 7B	2
英文学特殊研究 5A	2	米文学特殊研究 8A	2
英文学特殊研究 5B	2	米文学特殊研究 8B	2
英文学特殊研究 6A	2	英語学特殊研究 1A	2
英文学特殊研究 6B	2	英語学特殊研究 1B	2
英文学特殊研究 7A	2	英語学特殊研究 2A	2
英文学特殊研究 7B	2	英語学特殊研究 2B	2
米文学特殊研究 1A	2	英語学特殊研究 3A	2
米文学特殊研究 1B	2	英語学特殊研究 3B	2
米文学特殊研究 2A	2	英語学特殊研究 4A	2
米文学特殊研究 2B	2	英語学特殊研究 4B	2

上記科目より、30 単位以上を修得しなければならない。ただし、英米文学研究方法論 4 単位は必修とし、英文学、米文学、英語学の各分野から 2 分野以上にわたって 16 単位以上を修得すること。なお、10 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 英米文学専攻 (後期課程)

英文学特論 1A	2	米文学特論 3B	2
英文学特論 1B	2	米文学特論 5A	2
英文学特論 2A	2	米文学特論 5B	2
英文学特論 2B	2	米文学特論 7A	2
英文学特論 3A	2	米文学特論 7B	2
英文学特論 3B	2	米文学特論 8A	2
米文学特論 1A	2	米文学特論 8B	2
米文学特論 1B	2	英語学特論 1A	2
米文学特論 3A	2	英語学特論 1B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(2) (ア) 史学専攻 (前期課程)

修士論文指導演習	1	日本史特殊研究 5A	2
日本史特殊研究 1A	2	日本史特殊研究 5B	2
日本史特殊研究 1B	2	日本史演習 1	2
日本史特殊研究 2A	2	日本史演習 2	2
日本史特殊研究 2B	2	日本史演習 3	2
日本史特殊研究 3A	2	日本史演習 4	2
日本史特殊研究 3B	2	日本史演習 5	2
日本史特殊研究 4A	2	日本史演習 6	2
日本史特殊研究 4B	2	史学史 A	2

史学史 B	2	東洋史演習 4B	2
東洋史特殊研究 1A	2	西洋史特殊研究 1	4
東洋史特殊研究 1B	2	西洋史特殊研究 2A	2
東洋史特殊研究 2	4	西洋史特殊研究 2B	2
東洋史特殊研究 3A	2	西洋史特殊研究 3A	2
東洋史特殊研究 3B	2	西洋史特殊研究 3B	2
東洋史特殊研究 4A	2	西洋史特殊研究 4A	2
東洋史特殊研究 4B	2	西洋史特殊研究 4B	2
東洋史特殊研究 5A	2	西洋史特殊研究 5A	2
東洋史特殊研究 5B	2	西洋史特殊研究 5B	2
東洋史演習 1A	2	西洋史演習 1A	2
東洋史演習 1B	2	西洋史演習 1B	2
東洋史演習 2A	2	西洋史演習 2A	2
東洋史演習 2B	2	西洋史演習 2B	2
東洋史演習 3A	2	西洋史演習 3A	2
東洋史演習 3B	2	西洋史演習 3B	2
東洋史演習 4A	2		

上記科目より、30 単位以上を修得しなければならない。ただし、修士論文指導演習 2 単位を必修とする。なお、8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 史学専攻（後期課程）

史学研究方法論 A	2	東洋史特論 C	2
史学研究方法論 B	2	東洋史特論 D	2
日本史特論 A	2	東洋史特論 E	2
日本史特論 B	2	東洋史特論 F	2
日本史特論 C	2	西洋史特論 A	2
日本史特論 D	2	西洋史特論 B	2
日本史特論 E	2	西洋史特論 C	2
日本史特論 F	2	西洋史特論 D	2
東洋史特論 A	2	史学史研究 A	2
東洋史特論 B	2	史学史研究 B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自分の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(3) (ア) 教育学専攻（前期課程）

教育哲学研究 1	2	教育思想史研究 1	2
教育哲学研究 2	2	教育思想史研究 2	2
日本教育史研究 1	2	教育学特殊研究 1	2
日本教育史研究 2	2	教育学特殊研究 2	2
外国教育史研究 1	2	教育学特殊研究 3	2
外国教育史研究 2	2	教育学特殊研究 4	2
教育社会学研究 1	2	教育学特殊研究 5	2
教育社会学研究 2	2	教育学演習 1	2
教育心理学研究 1	2	教育学演習 2	2
教育心理学研究 2	2	教育学演習 3	2
教育方法学研究 1	2	教育学演習 4	2
教育方法学研究 2	2	教育学演習 5	2
社会教育研究 1	2	教育学演習 6	2
社会教育研究 2	2	教育学演習 7	2
比較教育学研究 1	2	教育学演習 8	2
比較教育学研究 2	2	教育学演習 9	2

上記科目より、30 単位以上を選択修得しなければならない。なお、10 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 教育学専攻（後期課程）

教育哲学基礎研究	2	教育学特論 1	2
日本教育史基礎研究	2	教育学特論 2	2
外国教育史基礎研究	2	教育学特論 3	2
教育社会学基礎研究	2	教育学特論 4	2
教育心理学基礎研究	2	教育学特論 5	2
教育方法学基礎研究	2	教育学特論 6	2
社会教育学基礎研究	2	教育学特論 7	2
比較教育学基礎研究	2	教育学特論 8	2
教育思想史基礎研究	2	教育学特論 9	2

上記科目より、6単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(4) (ア) 日本文学専攻（前期課程）

日本文学演習 1A	2	日本文学研究 1B	2
日本文学演習 1B	2	日本文学研究 2A	2
日本文学演習 2A	2	日本文学研究 2B	2
日本文学演習 2B	2	日本文学研究 3A	2
日本文学演習 3A	2	日本文学研究 3B	2
日本文学演習 3B	2	日本文学研究 4A	2
日本文学演習 4A	2	日本文学研究 4B	2
日本文学演習 4B	2	日本文学研究 5A	2
日本文学演習 5A	2	日本文学研究 5B	2
日本文学演習 5B	2	日本文学研究 6A	2
日本文学演習 6A	2	日本文学研究 6B	2
日本文学演習 6B	2	日本語学研究 1A	2
日本文学演習 7A	2	日本語学研究 1B	2
日本文学演習 7B	2	日本語学研究 2A	2
日本語学演習 1	2	日本語学研究 2B	2
日本語学演習 2	2	中国文学研究 1	2
日本文学研究 1A	2	中国文学研究 2	2

上記科目より、30単位以上を選択修得しなければならない。なお、8単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 日本文学専攻（後期課程）

日本文学特殊研究 P1A	2	日本文学特殊研究 P5B	2
日本文学特殊研究 P1B	2	日本文学特殊研究 P6A	2
日本文学特殊研究 P2A	2	日本文学特殊研究 P6B	2
日本文学特殊研究 P2B	2	日本語学特殊研究 P1A	2
日本文学特殊研究 P3A	2	日本語学特殊研究 P1B	2
日本文学特殊研究 P3B	2	日本語学特殊研究 P2A	2
日本文学特殊研究 P4A	2	日本語学特殊研究 P2B	2
日本文学特殊研究 P4B	2	中国文学特殊研究 P1A	2
日本文学特殊研究 P5A	2	中国文学特殊研究 P1B	2

上記科目より、6単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(5) (ア) フランス文学専攻（前期課程）

フランス文学特殊研究 1A	2	フランス文学特殊研究 4A	2
フランス文学特殊研究 1B	2	フランス文学特殊研究 4B	2
フランス文学特殊研究 2A	2	フランス文学特殊研究 5A	2
フランス文学特殊研究 2B	2	フランス文学特殊研究 5B	2
フランス文学特殊研究 3A	2	フランス語学特殊研究 1A	2
フランス文学特殊研究 3B	2	フランス語学特殊研究 1B	2

フランス文学演習 1A	2	フランス語学演習 1B	2
フランス文学演習 1B	2	フランス語学演習 2A	2
フランス文学演習 2A	2	フランス語学演習 2B	2
フランス文学演習 2B	2	フランス語学演習 3A	2
フランス語学演習 1A	2	フランス語学演習 3B	2

上記科目より、30 単位以上を修得しなければならない。ただし、フランス語学特殊研究 1A・1B、フランス語学演習 1A・1B の 4 科目はかならず修得しなければならない。なお、8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) フランス文学専攻（後期課程）

フランス文学特殊研究 1A	2	フランス文学特殊研究 4A	2
フランス文学特殊研究 1B	2	フランス文学特殊研究 4B	2
フランス文学特殊研究 2A	2	フランス文学特殊研究 5A	2
フランス文学特殊研究 2B	2	フランス文学特殊研究 5B	2
フランス文学特殊研究 3A	2	フランス語学特殊研究 1A	2
フランス文学特殊研究 3B	2	フランス語学特殊研究 1B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(6) (ア) ドイツ文学専攻（前期課程）

ドイツ文学特殊研究 1A	2	ドイツ文学特殊研究 9A	2
ドイツ文学特殊研究 1B	2	ドイツ文学特殊研究 9B	2
ドイツ文学特殊研究 2A	2	ドイツ語学特殊研究 1A	2
ドイツ文学特殊研究 2B	2	ドイツ語学特殊研究 1B	2
ドイツ文学特殊研究 3A	2	ドイツ語学特殊研究 2A	2
ドイツ文学特殊研究 3B	2	ドイツ語学特殊研究 2B	2
ドイツ文学特殊研究 4A	2	ドイツ語学特殊研究 3A	2
ドイツ文学特殊研究 4B	2	ドイツ語学特殊研究 3B	2
ドイツ文学特殊研究 5A	2	ドイツ語教育特殊研究 1A	2
ドイツ文学特殊研究 5B	2	ドイツ語教育特殊研究 1B	2
ドイツ文学特殊研究 6A	2	ドイツ語教育特殊研究 2A	2
ドイツ文学特殊研究 6B	2	ドイツ語教育特殊研究 2B	2
ドイツ文学特殊研究 7A	2	ドイツ学特殊研究 A	2
ドイツ文学特殊研究 7B	2	ドイツ学特殊研究 B	2
ドイツ文学特殊研究 8A	2	ドイツ文化史特殊研究 A	2
ドイツ文学特殊研究 8B	2	ドイツ文化史特殊研究 B	2

上記科目より、30 単位以上を修得しなければならない。なお、8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) ドイツ文学専攻（後期課程）

ドイツ文学特殊研究 8A	2	ドイツ語教育特殊研究 1B	2
ドイツ文学特殊研究 8B	2	ドイツ文化史特殊研究 A	2
ドイツ語教育特殊研究 1A	2	ドイツ文化史特殊研究 B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(7) (ア) 比較文明学専攻（前期課程）

現代文明学特殊研究 1 （比較方法研究）	2	現代文明学特殊研究 5 （文明批判論）	2
現代文明学特殊研究 2	2	現代文明学演習 1	2
現代文明学特殊研究 3	2	現代文明学演習 2	2
現代文明学特殊研究 4	2	現代文明学演習 3	2

現代文明学演習 4	2	文明工学演習 5	2
現代文明学演習 5	2	言語多文化学特殊研究 1	2
文明工学特殊研究 1	2	言語多文化学特殊研究 2	2
文明工学特殊研究 2	2	言語多文化学特殊研究 3	2
文明工学特殊研究 3	2	言語多文化学特殊研究 4	2
文明工学特殊研究 4	2	言語多文化学特殊研究 5	2
文明工学特殊研究 5	2	言語多文化学演習 1	2
文明工学演習 1	2	言語多文化学演習 2	2
文明工学演習 2	2	言語多文化学演習 3	2
文明工学演習 3	2	言語多文化学演習 4	2
文明工学演習 4	2	言語多文化学演習 5	2

上記科目より、30 単位以上を選択修得しなければならない。ただし、現代文明学特殊研究 1・5 のうちいずれか 1 科目はかならず修得しなければならない。なお、8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 比較文明学専攻（後期課程）

1 必修科目

比較文明学特殊研究 1	2	比較文明学特殊研究 2	2
-------------	---	-------------	---

2 選択科目

比較文明学特殊研究 3	2	比較文明学特殊研究 7	2
比較文明学特殊研究 4	2	比較文明学特殊研究 8	2
比較文明学特殊研究 5	2	比較文明学特殊研究 9	2
比較文明学特殊研究 6	2		

上記科目より、必修科目 4 単位、選択科目 2 単位、計 6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(8) (7) 超域文化学専攻（前期課程）

地域社会研究方法論 A (合同ゼミナール)	2	文化人類学特殊研究 3A (民族誌)	2
地域社会研究方法論 B (合同ゼミナール)	2	文化人類学特殊研究 3B (民族誌)	2
地理学特殊研究 1A (ヨーロッパ研究)	2	超域文化学特殊研究 1	2
地理学特殊研究 1B (ヨーロッパ研究)	2	超域文化学特殊研究 2	2
地理学特殊研究 2A (アジア・アフリカ研究)	2	超域文化学特殊研究 3	2
地理学特殊研究 2B (アジア・アフリカ研究)	2	地理学調査演習 A (海外フィールドワーク)	2
地理学特殊研究 3A (南北アメリカ研究)	2	地理学調査演習 B (海外フィールドワーク)	2
地理学特殊研究 3B (南北アメリカ研究)	2	地域社会調査演習 A (国内フィールドワーク)	2
文化人類学特殊研究 1A (文化ダイナミクス論)	2	地域社会調査演習 B (国内フィールドワーク)	2
文化人類学特殊研究 1B (文化ダイナミクス論)	2	地理学演習 1A (地域研究論)	2
文化人類学特殊研究 2A (表象文化論)	2	地理学演習 1B (地域研究論)	2
文化人類学特殊研究 2B (表象文化論)	2	地理学演習 2A (地域史研究)	2
		地理学演習 2B (地域史研究)	2
		文化人類学演習 1A (民族文化論)	2

文化人類学演習 1B (民族文化論)	2	超域文化学演習 1B (複合文化論)	2
文化人類学演習 2A (文化環境論)	2	超域文化学演習 2A (芸能論)	2
文化人類学演習 2B (文化環境論)	2	超域文化学演習 2B (芸能論)	2
超域文化学演習 1A (複合文化論)	2		

上記科目より、演習 8 単位以上を含め 30 単位以上を修得しなければならない。なお、演習以外の科目について 8 単位までは、本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 超域文化学専攻 (後期課程)

地域社会調査特殊研究 A	2	地域社会調査実習 B	2
地域社会調査特殊研究 B	2	地理学調査実習 A	2
地域社会調査実習 A	2	地理学調査実習 B	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

2 大学院経済学研究科

経済学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 経済学専攻 (前期課程) (昼間) (社会人コース)

① 必修科目

演習特別指導 1	4	演習追加指導 1	2
演習特別指導 2	4	演習追加指導 2	2

② 選択科目

経済学史特論 1	2	現代金融特論 2	2
経済学史特論 2	2	国際金融特論 1	2
流通・分配特論 1	2	国際金融特論 2	2
流通・分配特論 2	2	経済統計特論 1	2
価値論特論 1	2	経済統計特論 2	2
価値論特論 2	2	近代経済学1特論 1	2
景気変動特論 1	2	近代経済学1特論 2	2
景気変動特論 2	2	近代経済学2特論 1	2
現代経済特論 1	2	近代経済学2特論 2	2
現代経済特論 2	2	近代経済学3特論 1	2
計量経済特論 1	2	近代経済学3特論 2	2
計量経済特論 2	2	統計学特論 1	2
財政学1特論 1	2	統計学特論 2	2
財政学1特論 2	2	財政学 A 特論 1	2
財政学2特論 1	2	財政学 A 特論 2	2
財政学2特論 2	2	財政学 B 特論 1	2
財政学3特論 1	2	財政学 B 特論 2	2
財政学3特論 2	2	アメリカ経済史特論 1	2
税法特論 1	2	アメリカ経済史特論 2	2
税法特論 2	2	社会思想史特論 1	2
税法 A 特論 1	2	社会思想史特論 2	2
税法 A 特論 2	2	日本経済史特論 1	2
税法 B 特論 1	2	日本経済史特論 2	2
税法 B 特論 2	2	アジア経済史特論 1	2
現代金融特論 1	2	アジア経済史特論 2	2

ヨーロッパ経済史特論 1	2	アメリカ経済特論 1	2
ヨーロッパ経済史特論 2	2	アメリカ経済特論 2	2
経営史特論 1	2	国際企業法務特論 1	2
経営史特論 2	2	国際企業法務特論 2	2
東洋史特論 1	2	企業環境 A 特論 1	2
東洋史特論 2	2	企業環境 A 特論 2	2
西洋史特論 1	2	企業環境 B 特論 1	2
西洋史特論 2	2	企業環境 B 特論 2	2
現代経済史特論 1	2	企業環境 C 特論 1	2
現代経済史特論 2	2	企業環境 C 特論 2	2
経済政策特論 1	2	資本市場特論 1	2
経済政策特論 2	2	資本市場特論 2	2
工業経済特論 1	2	会計学特論 1	2
工業経済特論 2	2	会計学特論 2	2
都市政策特論 1	2	経営分析特論 1	2
都市政策特論 2	2	経営分析特論 2	2
農業政策特論 1	2	管理会計特論 1	2
農業政策特論 2	2	管理会計特論 2	2
日本経済特論 1	2	財務会計特論 1	2
日本経済特論 2	2	財務会計特論 2	2
世界経済特論 1	2	原価計算特論 1	2
世界経済特論 2	2	原価計算特論 2	2
国際経済特論 1	2	会計史特論 1	2
国際経済特論 2	2	会計史特論 2	2
外国貿易特論 1	2	国際会計特論 1	2
外国貿易特論 2	2	国際会計特論 2	2
社会政策特論 1	2	会計情報特論 1	2
社会政策特論 2	2	会計情報特論 2	2
労働経済特論 1	2	会計監査特論 1	2
労働経済特論 2	2	会計監査特論 2	2
中小企業特論 1	2	経済情報特論 1	2
中小企業特論 2	2	経済情報特論 2	2
アジア経済特論 1	2	リサーチ手法特論	2
アジア経済特論 2	2	英語プレゼンテーション特論	2
証券経済特論 1	2	国際経済事情	2
証券経済特論 2	2	経済史特論 1	2
現代企業特論 1	2	経済史特論 2	2
現代企業特論 2	2	中国経済特論 1	2
コーポレートファイナンス特論 1	2	中国経済特論 2	2
コーポレートファイナンス特論 2	2	Special Lecture on Conference Presentation	2
環境経済特論 1	2	Special Lecture on Thesis Guidance	2
環境経済特論 2	2		

上記科目より、必修科目 8 単位、選択科目 22 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

(イ) 経済学専攻（後期課程）

① 選択科目

経済学史特殊講義 1	2	計量経済特殊講義 2	2
経済学史特殊講義 2	2	財政学1特殊講義 1	2
価値論特殊講義 1	2	財政学1特殊講義 2	2
価値論特殊講義 2	2	財政学2特殊講義 1	2
景気変動特殊講義 1	2	財政学2特殊講義 2	2
景気変動特殊講義 2	2	財政学3特殊講義 1	2
計量経済特殊講義 1	2	財政学3特殊講義 2	2

税法特殊講義 1	2	世界経済特殊講義 2	2
税法特殊講義 2	2	社会政策特殊講義 1	2
経済統計特殊講義 1	2	社会政策特殊講義 2	2
経済統計特殊講義 2	2	労働経済特殊講義 1	2
近代経済学1特殊講義 1	2	労働経済特殊講義 2	2
近代経済学1特殊講義 2	2	中小企業特殊講義 1	2
近代経済学2特殊講義 1	2	中小企業特殊講義 2	2
近代経済学2特殊講義 2	2	アジア経済特殊講義 1	2
近代経済学3特殊講義 1	2	アジア経済特殊講義 2	2
近代経済学3特殊講義 2	2	証券経済特殊講義 1	2
日本経済史特殊講義 1	2	証券経済特殊講義 2	2
日本経済史特殊講義 2	2	現代企業特殊講義 1	2
アジア経済史特殊講義 1	2	現代企業特殊講義 2	2
アジア経済史特殊講義 2	2	アメリカ経済特殊講義 1	2
ヨーロッパ経済史特殊講義 1	2	アメリカ経済特殊講義 2	2
ヨーロッパ経済史特殊講義 2	2	会計学特殊講義 1	2
経営史特殊講義 1	2	会計学特殊講義 2	2
経営史特殊講義 2	2	管理会計特殊講義 1	2
経済政策特殊講義 1	2	管理会計特殊講義 2	2
経済政策特殊講義 2	2	原価計算特殊講義 1	2
工業経済特殊講義 1	2	原価計算特殊講義 2	2
工業経済特殊講義 2	2	リサーチ手法特殊講義	2
都市政策特殊講義 1	2	英語プレゼンテーション特殊講義	2
都市政策特殊講義 2	2	中国経済特殊講義 1	2
日本経済特殊講義 1	2	中国経済特殊講義 2	2
日本経済特殊講義 2	2	Advanced Lecture on Conference Presentation	2
世界経済特殊講義 1	2	Advanced Lecture on Thesis Guidance	2

上記科目より、選択科目 6 単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

3 大学院理学研究科

理学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (7) 物理学専攻 (前期課程)

① 必修科目

輪講 1	1	輪講 3	1
輪講 2	1	輪講 4	1

② 選択必修科目

特別研究(理論)	3	特別研究 2(実験)	3
修士論文指導演習(理論)	3	特別研究 3(実験)	3
特別研究 1(実験)	3	修士論文指導演習(実験)	3

③ 選択科目

重力特論	2	数理物理特論 1	2
素粒子特論 1	2	数理物理特論 2	2
素粒子特論 2	2	原子核特論	2
量子場理論	2	原子・分子物理特論	2
量子場特論	2	電子工学特論	2
天体物理学	2	放射線計測特論	2
天体物理特論	2	宇宙放射線特論	2
宇宙物理特論 1	2	高エネルギー宇宙物理学特論	2
宇宙物理特論 2	2	惑星大気物理特論	2

惑星物理特論	2	数理物理学	2
現代物理学特別講義 1	2	統計物理学	2
現代物理学特別講義 2	2	原子核物理学	2
現代物理学特別講義 3	2	天体核物理学	2
現代物理学特別講義 4	2	原子・分子物理学	2
放射線計測演習	1	放射線物理学	2
放射線生物学特論	2	ハドロン物理学	2
放射線治療物理学	2	宇宙放射線物理学	2
情報処理学	2	惑星大気物理学	2
相対論	2	惑星物理学	2
素粒子論	2	高エネルギー宇宙物理学	2
宇宙物理学	2		
④ 随意科目			
医学概論	2	医学物理学実習	1

理論物理学を研究分野とするものは、必修科目 4 単位、選択必修科目特別研究（理論）6 単位、選択科目 20 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

原子核・放射線物理学、宇宙地球系物理学を研究分野にするものは、必修科目 4 単位、選択必修科目特別研究（実験）12 単位、選択科目 14 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

(1) 物理学専攻（後期課程）

輪講 A	1	現代物理学特別講義2	2
輪講 B	1	現代物理学特別講義3	2
重力特論	2	現代物理学特別講義4	2
素粒子特論1	2	放射線計測演習	2
素粒子特論2	2	放射線生物学特論	2
量子場理論	2	放射線治療物理学	2
量子場特論	2	情報処理学	2
天体物理学	2	相対論	2
天体物理特論	2	素粒子論	2
宇宙物理特論1	2	宇宙物理学	2
宇宙物理特論2	2	数理物理学	2
数理物理特論1	2	統計物理学	2
数理物理特論2	2	原子核物理学	2
原子核特論	2	天体核物理学	2
原子・分子物理特論	2	原子・分子物理学	2
電子工学特論	2	放射線物理学	2
放射線計測特論	2	ハドロン物理学	2
宇宙放射線特論	2	宇宙放射線物理学	2
高エネルギー宇宙物理学特論	2	惑星大気物理学	2
惑星大気物理特論	2	惑星物理学	2
惑星物理特論	2	高エネルギー宇宙物理学	2
現代物理学特別講義1	2		

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。かつ、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(2) (7) 化学専攻（前期課程）

① 必修科目			
輪講 1	1	特別研究 1	3
輪講 2	1	特別研究 2	3
輪講 3	1	特別研究 3	3
輪講 4	1	修士論文指導演習	3

② 選択科目

選択科目Ⅰ

分析化学基礎特論	2	無機化学基礎特論	2
分析化学応用特論 1	2	無機化学応用特論 1	2
分析化学応用特論 2	2	無機化学応用特論 2	2

選択科目Ⅱ

物理化学基礎特論	2	量子化学特論 1	2
物理化学応用特論 1	2	物理化学応用特論 3	2
物理化学応用特論 2	2	物理化学応用特論 4	2

選択科目Ⅲ

有機化学基礎特論	2	有機化学応用特論 3	2
有機化学応用特論 1	2	有機化学応用特論 4	2
有機化学応用特論 2	2		

選択科目Ⅳ

特別講義 1	2	特別講義 8	2
特別講義 2	2	特別講義 9	2
特別講義 3	2	特別講義 10	2
特別講義 4	2	特別講義 11	2
特別講義 5	2	特別講義 12	2
特別講義 6	2	化学英語	2
特別講義 7	2		

上記科目より、必修科目 16 単位（輪講 4 単位，特別研究 12 単位），選択科目 14 単位以上（選択科目Ⅰ～Ⅲから各 2 単位以上，選択科目Ⅳから 4 単位以上）修得しなければならない。

(i) 化学専攻（後期課程）

輪講 A	1	特別講義 1	2
輪講 B	1	特別講義 2	2
分析化学応用特論 1	2	特別講義 3	2
分析化学応用特論 2	2	特別講義 4	2
無機化学応用特論 1	2	特別講義 5	2
無機化学応用特論 2	2	特別講義 6	2
物理化学応用特論 1	2	特別講義 7	2
物理化学応用特論 2	2	特別講義 8	2
物理化学応用特論 3	2	特別講義 9	2
物理化学応用特論 4	2	特別講義 10	2
有機化学応用特論 1	2	特別講義 11	2
有機化学応用特論 2	2	特別講義 12	2
有機化学応用特論 3	2	化学英語	2
有機化学応用特論 4	2		

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。かつ、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(3) (ア) 数学専攻（前期課程）

① 必修科目

数学研究 1	3	数学研究 4	3
数学研究 2	3	プレゼンテーション演習 1	2
数学研究 3	3	プレゼンテーション演習 2	2

② 選択科目

解析学特論 1	2	解析学特論 3	2
解析学特論 2	2	解析学特論 4	2

解析学特論 5	2	統計数学特論 4	2
解析学特論 6	2	応用数学特論 1	2
解析学特論 7	2	応用数学特論 2	2
解析学特論 8	2	応用数学特論 3	2
代数学特論 1	2	応用数学特論 4	2
代数学特論 2	2	計算機特論 1	2
代数学特論 3	2	計算機特論 2	2
代数学特論 4	2	計算機特論 3	2
代数学特論 5	2	計算機特論 4	2
代数学特論 6	2	計算機特論 5	2
代数学特論 7	2	計算機特論 6	2
代数学特論 8	2	計算機特論 7	2
幾何学特論 1	2	計算機特論 8	2
幾何学特論 2	2	情報科学特論 1	2
幾何学特論 3	2	情報科学特論 2	2
幾何学特論 4	2	情報科学特論 3	2
幾何学特論 5	2	情報科学特論 4	2
幾何学特論 6	2	情報科学特論 5	2
幾何学特論 7	2	情報科学特論 6	2
幾何学特論 8	2	情報科学特論 7	2
確率論特論 1	2	情報科学特論 8	2
確率論特論 2	2	確率論 1	2
確率論特論 3	2	確率論 2	2
確率論特論 4	2	確率論 3	2
統計数学特論 1	2	数理統計学 1	2
統計数学特論 2	2	数理統計学 2	2
統計数学特論 3	2	数理統計学 3	2

上記科目より、必修科目 16 単位、選択科目 14 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

(1) 数学専攻（後期課程）

解析学特論 1	2	幾何学特論 8	2
解析学特論 2	2	確率論特論 1	2
解析学特論 3	2	確率論特論 2	2
解析学特論 4	2	確率論特論 3	2
解析学特論 5	2	確率論特論 4	2
解析学特論 6	2	統計数学特論 1	2
解析学特論 7	2	統計数学特論 2	2
解析学特論 8	2	統計数学特論 3	2
代数学特論 1	2	統計数学特論 4	2
代数学特論 2	2	応用数学特論 1	2
代数学特論 3	2	応用数学特論 2	2
代数学特論 4	2	応用数学特論 3	2
代数学特論 5	2	応用数学特論 4	2
代数学特論 6	2	計算機特論 1	2
代数学特論 7	2	計算機特論 2	2
代数学特論 8	2	計算機特論 3	2
幾何学特論 1	2	計算機特論 4	2
幾何学特論 2	2	計算機特論 5	2
幾何学特論 3	2	計算機特論 6	2
幾何学特論 4	2	計算機特論 7	2
幾何学特論 5	2	計算機特論 8	2
幾何学特論 6	2	情報科学特論 1	2
幾何学特論 7	2	情報科学特論 2	2

情報科学特論 3	2	確率論 1	2
情報科学特論 4	2	確率論 2	2
情報科学特論 5	2	確率論 3	2
情報科学特論 6	2	数理統計学 1	2
情報科学特論 7	2	数理統計学 2	2
情報科学特論 8	2	数理統計学 3	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。かつ、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(4) (ア) 生命理学専攻（前期課程）

① 必修科目

輪講 1	1	特別研究 1	3
輪講 2	1	特別研究 2	3
輪講 3	1	特別研究 3	3
輪講 4	1	修士論文指導演習	3

② 選択科目

生命理学概論	2	分子生物学特論 2	2
分子生物学概論	2	細胞生物学特論	2
生物物理学概論	2	生物物理学特論	2
生物化学概論	2	生物化学特論 1	2
細胞生物学概論	2	生物化学特論 2	2
生命理学特論	2	生命理学特別講義 1	2
分子生物学特論 1	2	生命理学特別講義 2	2

上記科目より、必修科目 16 単位、選択科目 14 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

(イ) 生命理学専攻（後期課程）

① 必修科目

輪講 A	1	分子生物学特論 1	2
輪講 B	1	分子生物学特論 2	2
生命理学概論	2	細胞生物学特論	2
分子生物学概論	2	生物物理学特論	2
生物物理学概論	2	生物化学特論 1	2
生物化学概論	2	生物化学特論 2	2
細胞生物学概論	2	生命理学特別講義 1	2
生命理学特論	2	生命理学特別講義 2	2

上記科目より、6 単位以上を修得しなければならない。かつ、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導および輪講を受けなければならない。

4 大学院社会学研究科

社会学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 社会学専攻（前期課程）

① 必修科目

社会学基礎論	2	研究指導演習	1
修士論文作成演習	1	研究指導演習	1
修士論文作成演習	1		

② 選択科目

<調査法科目>

調査計画法	2	質的分析法	2
量的分析法	2		
＜プロジェクト科目＞			
プロジェクト研究 A1	2	プロジェクト研究 C2	2
プロジェクト研究 A2	2	プロジェクト研究 D1	2
プロジェクト研究 B1	2	プロジェクト研究 D2	2
プロジェクト研究 B2	2	プロジェクト研究 E1	2
プロジェクト研究 C1	2	プロジェクト研究 E2	2
＜基礎科目＞			
現代社会学理論	2	政治社会学	2
相互行為論	2	産業・労働社会学	2
社会階層論	2	都市社会学	2
ジェンダーとセクシュアリティ	2	環境社会学	2
人種とエスニシティ	2	メディア社会学	2
社会老年学	2	文化人類学	2
家族社会学	2	カルチュラルスタディーズ	2
宗教社会学	2	科学技術社会論	2
③ 自由科目			
＜発展科目＞			
消費社会・消費文化研究	2	オルタナティブ・メディア演習	2
消費社会・消費文化演習	2	質的メディア研究	2
エスノメソドロジー研究	2	質的メディア演習	2
エスノメソドロジー演習	2	ジャーナリズムスタディーズ研究	2
環境社会学研究	2	ジャーナリズムスタディーズ演習	2
環境社会学演習	2	科学技術社会論研究	2
現代社会学理論研究	2	科学技術社会論演習	2
現代社会学理論演習	2	相互行為論研究	2
家族社会学演習	2	相互行為論演習	2
弱者・マイノリティ研究	2	社会関係論研究	2
地域社会学研究	2	社会関係論演習	2
地域社会学演習	2	ライフストーリー研究	2
産業・労働社会学研究	2	ライフストーリー演習	2
産業・労働社会学演習	2	音楽社会学研究	2
計量社会学研究	2	音楽社会学演習	2
社会階層論演習	2	環境教育研究	2
地域・福祉政策研究	2	ESD 演習	2
地域・福祉政策演習	2	デジタル・メディア研究	2
グローバル都市研究	2	デジタル・メディア演習	2
グローバル都市演習	2	現代文化社会論	2
宗教社会学研究	2	現代文化社会論演習	2
宗教社会学演習	2	国際社会学	2
映像文化論	2	国際社会学演習	2
映像文化論演習	2	文化人類学研究	2
マイグレーション論	2	文化人類学演習	2
マイグレーション論演習	2	教育社会学研究	2
都市と空間の社会学	2	教育社会学演習	2
都市と空間の社会学演習	2	Web スタディーズ論研究	2
都市社会学研究	2	Web スタディーズ論演習	2
都市社会学演習	2	経済社会学	2
メディア史研究	2	経済社会学演習	2
メディア史演習	2	ジェンダー研究	2
映像メディア論研究	2	ジェンダー演習	2
映像メディア論演習	2	社会学特殊研究 A	2
オルタナティブ・メディア研究	2	社会学特殊研究 B	2

社会学特殊研究 C	2	社会学特殊研究 I	2
社会学特殊研究 D	2	社会学特殊研究 J	2
社会学特殊研究 E	2	社会学特殊研究 K	2
社会学特殊研究 F	2	社会学特殊研究 L	2
社会学特殊研究 G	2	社会学特殊研究 M	2
社会学特殊研究 H	2	社会学特殊研究 N	2
＜リサーチ英語演習＞			
リサーチ英語演習 A	2	リサーチ英語演習 B	2
＜アカデミック・ライティング科目＞			
学術論文の技法	2		
＜社会学特別講座＞			
社会学特別講座 1	2	社会学特別講座 2	2

博士課程前期課程は、必修科目（社会学基礎論 2 単位、研究指導演習 2 単位、修士論文作成演習 2 単位）計 6 単位、選択科目（調査法科目 2 単位、プロジェクト科目 4 単位、基礎科目 8 単位）から 14 単位以上、自由科目（発展科目、リサーチ英語演習、アカデミック・ライティング科目、社会学特別講座）から 1 2 単位以上を修得しなければならない。ただし、自由科目については、他研究科科目 8 単位までを選択科目として修了に必要な単位として算入することができる。

(4) 社会学専攻（後期課程）

① 選択科目

＜調査法科目＞			
調査計画法	2	質的分析法	2
量的分析法	2		
＜社会学研究特論＞			
社会学基礎論	2	政治社会学	2
現代社会学理論	2	産業・労働社会学	2
相互行為論	2	都市社会学	2
社会階層論	2	環境社会学	2
ジェンダーとセクシュアリティ	2	メディア社会学	2
人種とエスニシティ	2	文化人類学	2
社会老年学	2	カルチュラルスタディーズ	2
家族社会学	2	科学技術社会論	2
宗教社会学	2		

博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。また、選択科目（調査法科目および社会学研究特論）から 6 単位以上を修得しなければならない。ただし、他研究科後期課程科目あるいは他大学院後期課程科目（入学前既修得を含む）の 2 単位までを修了に必要な単位として算入することができる。

5 大学院法学研究科

法学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 法学政治学専攻（前期課程）

＜法学系＞			
法学研究基礎	2	国際法研究	2
英米法研究	2	国際法特論	2
英米法特論	2	国際私法研究	2

国際私法特論	2	民事訴訟法研究	2
国際経済法研究	2	民事訴訟法特論	2
国際経済法特論	2	刑法研究	2
国際取引法研究	2	刑法特論	2
国際取引法特論	2	刑事訴訟法研究	2
法哲学研究	2	刑事訴訟法特論	2
法哲学特論	2	経済法研究	2
法社会学研究	2	経済法特論	2
法社会学特論	2	知的財産法研究	2
憲法研究	2	知的財産法特論	2
憲法特論	2	労働法研究	2
行政法研究	2	労働法特論	2
行政法特論	2	環境法研究	2
民法研究 A	2	環境法特論	2
民法研究 B	2	租税法研究	2
民法特論 A	2	租税法特論	2
民法特論 B	2	判例研究	2
民法特論 C	2	法学総合演習(1)	1
商法研究	2	法学総合演習(2)	1
商法特論	2	法学政治学特別リサーチ	2
＜政治学系＞			
政治学研究基礎	2	日本政治思想史研究	2
現代政治理論研究	2	日本政治思想史特論	2
政治学特論	2	欧州政治思想史研究	2
政治過程研究	2	欧州政治思想史特論	2
政治過程特論	2	国際政治研究	2
ヨーロッパ政治研究	2	国際政治特論	2
ヨーロッパ政治特論	2	行政学研究	2
アメリカ政治研究	2	行政学特論	2
アメリカ政治特論	2	公共政策特論	2
アジア政治研究	2	地方自治特論	2
アジア政治特論	2	政治学総合演習(1)	1
日本政治史研究	2	政治学総合演習(2)	1
日本政治史特論	2	法学政治学特別リサーチ	2
＜法学・政治共通＞			
統計学特論	2	特別研究指導 A2	2
社会調査特論	2	特別研究指導 B1	2
特別研究指導 A1	2	特別研究指導 B2	2

法学政治学専攻は、特別研究指導 A1・A2・B1・B2 を各 2 単位合計 8 単位、本専攻科目を 12 単位、本専攻・他研究科・法学部・単位互換協定大学院の各科目から 10 単位、計 30 単位以上を修得しなければならない。ただし、他研究科科目は 4 単位、法学部科目は 4 単位、単位互換協定大学院科目は 8 単位を、それぞれ超えて修了要件単位とすることができない。

(4) 法学政治学専攻（後期課程）

＜法学系＞			
法学総合演習(1)	1	法学研究基礎	2
法学総合演習(2)	1		
＜政治学系＞			
政治学総合演習(1)	1	政治学研究基礎	2
政治学総合演習(2)	1		

博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。また、法学総合演習(1)・(2)または政治学総合演習

(1)・(2) から6単位以上修得しなければならない。ただし、法科大学院修了者については、法学総合演習(1)・(2)、政治学総合演習(1)・(2)以外に、法学研究基礎または政治学研究基礎を修得しなければならない。

6 大学院観光学研究科

観光学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 観光学専攻(前期課程)

① 必修科目

観光研究基礎指導 A	2	修士論文指導演習 B	2
観光研究基礎指導 B	2	観光研究演習 A	1
修士論文指導演習 A	2	観光研究演習 B	1

② 選択科目

観光経済学研究	2	観光文学研究(1)	2
観光経営研究	2	観光文学研究(2)	2
観光行動研究	2	観光マーケティング研究	2
観光地調査研究法	2	観光歴史学研究	2
観光環境・計画学研究(1)	2	経営財務1	2
観光環境・計画学研究(2)	2	経営財務2	2
観光環境・計画学研究(3)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント1	2
観光社会学研究(1)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント2	2
観光社会学研究(2)	2	マーケティング・エッセンシャルズ1	2
観光社会学研究(3)	2	マーケティング・エッセンシャルズ2	2
観光人類学研究(1)	2	マーケティング・リサーチ1	2
観光人類学研究(2)	2	マーケティング・リサーチ2	2
観光人類学研究(3)	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント1	2
観光政策学研究	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント2	2
観光地理学研究(1)	2	観光研究特論 A	2
観光地理学研究(2)	2	観光研究特論 B	2
観光地理学研究(3)	2		

上記科目より、必修科目10単位、選択科目20単位以上を修得しなければならない。

(イ) 観光学専攻(後期課程)

選択科目

観光経済学研究	2	観光地理学研究(3)	2
観光経営研究	2	観光文学研究(1)	2
観光行動研究	2	観光文学研究(2)	2
観光地調査研究法	2	観光マーケティング研究	2
観光環境・計画学研究(1)	2	観光歴史学研究	2
観光環境・計画学研究(2)	2	経営財務1	2
観光環境・計画学研究(3)	2	経営財務2	2
観光政策学研究	2	ヒューマン・リソース・マネジメント1	2
観光社会学研究(1)	2	ヒューマン・リソース・マネジメント2	2
観光社会学研究(2)	2	マーケティング・エッセンシャルズ1	2
観光社会学研究(3)	2	マーケティング・エッセンシャルズ2	2
観光人類学研究(1)	2	マーケティング・リサーチ1	2
観光人類学研究(2)	2	マーケティング・リサーチ2	2
観光人類学研究(3)	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント1	2
観光地理学研究(1)	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント2	2
観光地理学研究(2)	2		

上記科目より，選択科目6単位以上を修得しなければならない。博士論文作成のため，各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

7 大学院コミュニティ福祉学研究科

コミュニティ福祉学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) コミュニティ福祉学専攻（前期課程）

① 必修科目

研究基礎	2	研究指導 2	2
研究指導 1	2	研究指導 3	2

② 選択科目

保健医療福祉連携特論	2	地方自治特論	2
地域福祉特論	2	社会的連帯経済特論	2
生活困窮者支援特論	2	福祉政治特論	2
権利擁護特論	2	福祉経済特論	2
司法福祉学特論	2	社会運動研究特論	2
医療ソーシャルワーク特論	2	生命倫理学特論	2
女性支援政策特論	2	公共研究特論	2
高齢者福祉特論	2	地域政策特論	2
居住福祉特論	2	都市地理学特論	2
障害者支援特論	2	政策法務特論	2
ソーシャルワーク特殊研究1	2	社会調査特論	2
ソーシャルワーク特殊研究2	2	量的調査特論	2
ソーシャルワーク特殊研究3	2	質的調査特論	2
ソーシャルワーク特殊研究4	2	コミュニティ政策特殊研究1(コミュニティ学)	2
福祉政策特論	2	コミュニティ政策特殊研究2(コミュニティ学)	2
社会開発学特論	2	コミュニティ政策特殊研究3(政策学)	2
地域社会学特論	2	コミュニティ政策特殊研究4(政策学)	2

上記科目より，必修科目8単位，選択科目22単位以上を修得しなければならない。なお他専攻の科目から10単位までを履修し，選択科目に含めることができるものとする。

(イ) コミュニティ福祉学専攻（後期課程）

① 選択科目

保健医療福祉連携特論	2	社会開発学特論	2
地域福祉特論	2	地域社会学特論	2
生活困窮者支援特論	2	地方自治特論	2
権利擁護特論	2	社会的連帯経済特論	2
司法福祉学特論	2	福祉政治特論	2
医療ソーシャルワーク特論	2	福祉経済特論	2
女性支援政策特論	2	社会運動研究特論	2
高齢者福祉特論	2	生命倫理学特論	2
居住福祉特論	2	公共研究特論	2
障害者支援特論	2	地域政策特論	2
ソーシャルワーク特殊研究1	2	都市地理学特論	2
ソーシャルワーク特殊研究2	2	政策法務特論	2
ソーシャルワーク特殊研究3	2	コミュニティ政策特殊研究1(コミュニティ学)	2
ソーシャルワーク特殊研究4	2	コミュニティ政策特殊研究2(コミュニティ学)	2
福祉政策特論	2	コミュニティ政策特殊研究3(政策学)	2

博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。また、上記科目より、選択科目 6 単位以上を修得しなければならない。なお、他専攻の科目から 2 単位までを履修し、選択科目に含めることができるものとする。

8 大学院ビジネスデザイン研究科

ビジネスデザイン研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) ビジネスデザイン専攻 (前期課程)

① 必修科目

創造的マネジメントのための戦略的／創造的思考法
ビジネスシミュレーション 4

② 選択必修科目

修了研究モジュール

論文指導 1	2	論文指導 2	2
--------	---	--------	---

③ 選択科目

修了研究モジュール

専門研究A	2	特別演習2	2
専門研究B	2	ビジネスデザイン基礎	2
特別演習1	2	ビジネスリサーチ基礎	2

基礎モジュール

<創造的マネジメントのための基礎理論>

経済学

経済学基礎 1	2	企業経済学 2	2
経済学基礎 2	2	アグリフードシステム論 1	2
現代経済論 1	2	アグリフードシステム論 2	2
現代経済論 2	2	アジア経済論 1	2
企業経済学 1	2	アジア経済論 2	2

会計学

キャッシュフロー・マネジメント 1	2	会計学基礎 3	2
キャッシュフロー・マネジメント 2	2	原価計算基礎 3	2
管理会計 1	2	会計学 1	2
管理会計 2	2	会計学 2	2
財務会計 1	2	企業分析 1	2
財務会計 2	2	企業分析 2	2
会計学基礎 1	2	会計学基礎 OD	2
原価計算基礎 1	2	原価計算基礎 OD	2

ファイナンス

企業財務基礎	2	不動産運用設計	2
国際金融論 1	2	経営財務1	2
国際金融論 2	2	経営財務2	2
金融経済論 1	2	経営財務3	2
金融経済論 2	2	経営財務4	2
証券経済論 1	2	M&A1	2
証券経済論 2	2	M&A2	2

企業財務基礎 OD	2		
戦略策定と戦略経営			
経営学基礎 1	2	コーポレート・ストラテジー3	2
経営学基礎 2	2	コーポレート・ストラテジー4	2
日本の企業経営	2	マーケティング・ストラテジー1	2
コーポレート・ストラテジー1	2	マーケティング・ストラテジー2	2
コーポレート・ストラテジー2	2		
マーケティング&マーケティングリサーチ			
マーケティング・エッセンシャルズ 1	2	マーケティング・リサーチ 2	2
マーケティング・エッセンシャルズ 2	2	B to B マーケティング 1	2
流通システム論 1	2	B to B マーケティング 2	2
流通システム論 2	2	ブランドデザイン	2
消費者行動論 1	2	デザイン経営	2
消費者行動論 2	2	ソーシャルイノベーションデザイン	2
消費者行動論 3	2	街づくりデザイン	2
消費者行動論 4	2	フードシステムデザイン	2
マーケティング・リサーチ 1	2		
組織デザイン			
ビジネス・オーガニゼーション 1	2	ビジネス・オーガニゼーション 4	2
ビジネス・オーガニゼーション 2	2	組織情報論 1	2
ビジネス・オーガニゼーション 3	2	組織情報論 2	2
人材マネジメント			
ヒューマン・リソース・マネジメント 1	2	ヒューマン・リソース・マネジメント 5	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 2	2	ヒューマン・リソース・マネジメント 6	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 3	2	キャリアデザイン 1	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 4	2	キャリアデザイン 2	2
企業法と税法			
企業法務 1	2	租税論 1	2
企業法務 2	2	租税論 2	2
<創造的意思決定のための基礎的スキルと実践知識>			
統計と調査			
統計学 1	2	統計学基礎 1	2
統計学 2	2	統計学基礎 2	2
調査法 1	2	統計学基礎 OD	2
調査法 2	2	統計処理演習	2
コミュニケーションスキルと論理的思考法			
クリティカル・シンキング	2		
応用/専門モジュール			
ビジネスデザイン			
コンサルティング・メソッド 1	2	スタートアップ・ストラテジー2	2
コンサルティング・メソッド 2	2	不動産ビジネス論 1	2
ケース・ライティング 1	2	不動産ビジネス論 2	2
ケース・ライティング 2	2	Business Case Studies 1	2
ビジネスモデル入門	2	Business Case Studies 2	2
新商品開発 1	2	ビジネスケースメソッド 1	2
新商品開発 2	2	ビジネスケースメソッド 2	2
スタートアップ・ストラテジー1	2	オペレーション・マネジメント 1	2

オペレーション・マネジメント 2	2	ビジネスデザイン特講 2B	2
不動産アセットマネジメント 1	2	ビジネスデザイン特講 3A	2
不動産アセットマネジメント 2	2	ビジネスデザイン特講 3B	2
ビジネスデザイン特講 1A	2	ビジネスデザイン特講 4A	2
ビジネスデザイン特講 1B	2	ビジネスデザイン特講 4B	2
ビジネスデザイン特講 2A	2	ネゴシエーション	2
トップマネジメント			
リーダーシップ論 1	2	エグゼクティブ・リーダーシップ	2
リーダーシップ論 2	2	トップマネジメント論	2
経営者人材開発論	2		
ビジネスフィロソフィー			
ビジネス・エシックス 1	2	日本経済論 1	2
ビジネス・エシックス 2	2	日本経済論 2	2
CSR 1	2	コーポレート・ガバナンス	2
CSR 2	2	経営史	2
コーポレート・フィロソフィー	2		
PR/ブランドマネジメント			
パブリック・リレーションズ 1	2	コーポレート・マーケティング	2
パブリック・リレーションズ 2	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント 1	2
ブランド・マーケティング 1	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント 2	2
ブランド・マーケティング 2	2		
グローバルマネジメント			
グローバルマーケティング 1	2	Global Management 2	2
グローバルマーケティング 2	2	グローバル経営戦略 1	2
産業クラスター論	2	グローバル経営戦略 2	2
国際ナショナルビジネス 1	2	グローバル経営人材育成法 1	2
国際ナショナルビジネス 2	2	グローバル経営人材育成法 2	2
Global Management 1	2		
シードマネジメント/MOT			
知的経営論	2	テクノトレンド 2	2
イノベーション・マネジメント	2	インダストリアルマネジメント 1	2
テクノロジー&ストラテジー	2	インダストリアルマネジメント 2	2
テクノロジーマネジメント 1	2	リーディング産業論	2
テクノロジーマネジメント 2	2	情報メディアビジネス論	2
テクノロジーマネジメント 3	2	シードマネジメント特講 1A	2
テクノロジーマネジメント 4	2	シードマネジメント特講 1B	2
テクノロジー・マーケティング	2	シードマネジメント特講 2A	2
テクノトレンド 1	2	シードマネジメント特講 2B	2
ベンチャー/スモールビジネスマネジメント			
スモールビジネス 1	2	ベンチャー金融論	2
スモールビジネス 2	2	アントレプレナーシップ	2
ベンチャー企業論	2	起業家のためのクリエイティブシンキング	2
ホスピタリティ&サービスマネジメント			
ホスピタリティ・マネジメント 1	2	サービス経済学 2	2
ホスピタリティ・マネジメント 2	2	ホテルマネジメント 1	2
ホスピタリティ人材開発論	2	ホテルマネジメント 2	2
ホスピタリティ人材管理論	2	ホテルアセットマネジメント 1	2
F&Bマネジメント論	2	ホテルアセットマネジメント 2	2
フードサービス・チェーンオペレーション	2	食文化とツーリズム	2
エンターテインメント・ビジネス論 1	2	メディカル・ビジネス論	2
エンターテインメント・ビジネス論 2	2	介護ビジネス論	2
サービス・イノベーション	2	ホスピタリティデザイン特講 1A	2
サービス経済学 1	2	ホスピタリティデザイン特講 1B	2

ホスピタリティデザイン特講 2A	2	ホテルインベストメント 1	2
ホスピタリティデザイン特講 2B	2	ホテルインベストメント 2	2
ホスピタリティデザイン特講 3A	2	ホテル経営戦略	2
ホスピタリティデザイン特講 3B	2	医療経済学概論	2
ホスピタリティデザイン特講 4A	2	医療経営学概論	2
ホスピタリティデザイン特講 4B	2	ホテルディベロップメント 1	2
ホスピタリティデザイン特講 5A	2	ホテルディベロップメント 2	2
ホスピタリティデザイン特講 5B	2		
ホスピタリティ&サービスマーケティング			
サービス・マーケティング 1	2	F&Bマーケティング 1	2
サービス・マーケティング 2	2	F&Bマーケティング 2	2
都市と観光			
都市マネジメント 1	2	観光地マネジメント 3	2
都市マネジメント 2	2	観光地マネジメント 4	2
観光地域政策論 1	2	都市経済学 1	2
観光地域政策論 2	2	都市経済学 2	2
観光地域経済論 1	2	観光経営研究 1	2
観光地域経済論 2	2	観光経営研究 2	2
トラベルビジネス・ベーシック	2	観光産業研究	2
観光地マネジメント 1(イノベーション)	2	地域イノベーションデザイン	2
観光地マネジメント 2(ネットワーク)	2		
Business&Society			
ワーク・ライフ・バランス 1	2	企業論 1	2
ワーク・ライフ・バランス 2	2	企業論 2	2
ソーシャルビジネス	2		
デジタル・ビジネス・トランスフォーメーション			
データサイエンス基礎	2	DX戦略論2	2
デジタル・ビジネスプランニング	2	DX人材戦略	2
IT 産業論	2	マーケティングサイエンス	2
経営とデジタル	2	データサイエンス1	2
DX経営	2	データサイエンス2	2
DX戦略論1	2		

修士論文（ビジネスデザイン）又は修士論文（ビジネスリサーチ）のいずれかを必修とする。上記科目より、必修科目 4 単位、選択必修科目から 4 単位、選択科目から 32 単位、合計 40 単位以上を修得しなければならない。

(イ) ビジネスデザイン専攻（後期課程）

リサーチワーク A(研究指導科目)

経営学特別研究1	2	経営学特別研究13	2
経営学特別研究2	2	経営学特別研究14	2
経営学特別研究3	2	経営学特別研究15	2
経営学特別研究4	2	経営学特別研究16	2
経営学特別研究5	2	経営学特別研究17	2
経営学特別研究6	2	経営学特別研究18	2
経営学特別研究7	2	経営学特別研究19	2
経営学特別研究8	2	経営学特別研究20	2
経営学特別研究9	2	経営学特別研究21	2
経営学特別研究10	2	経営学特別研究22	2
経営学特別研究11	2	経営学特別研究23	2
経営学特別研究12	2	経営学特別研究24	2

経営学特別研究25	2	経営学特別研究32	2
経営学特別研究26	2	経営学特別研究33	2
経営学特別研究27	2	経営学特別研究34	2
経営学特別研究28	2	経営学特別研究35	2
経営学特別研究31	2	経営学特別研究36	2
リサーチワークB(論文指導科目)			
経営学研究法演習1	2	経営学研究法演習2	2
コースワーク			
現代経済論 1(D)	2	コーポレート・マーケティング(D)	2
現代経済論 2(D)	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント 1(D)	2
アグリフードシステム論 1(D)	2	ラグジュアリーブランド・マネジメント 2(D)	2
アグリフードシステム論 2(D)	2	インターナショナルビジネス 1(D)	2
アジア経済論 1(D)	2	インターナショナルビジネス 2(D)	2
アジア経済論 2(D)	2	テクノロジーマネジメント 1(D)	2
キャッシュフロー・マネジメント 1(D)	2	テクノロジーマネジメント 2(D)	2
キャッシュフロー・マネジメント 2(D)	2	テクノトレンド 1(D)	2
会計学基礎 3(D)	2	テクノトレンド 2(D)	2
原価計算基礎 3(D)	2	インダストリアルマネジメント 1(D)	2
企業分析 1(D)	2	インダストリアルマネジメント 2(D)	2
企業分析 2(D)	2	リーディング産業論(D)	2
企業財務基礎(D)	2	ベンチャー企業論(D)	2
経営財務1(D)	2	ベンチャー金融論(D)	2
経営財務2(D)	2	アントレプレナーシップ(D)	2
コーポレート・ストラテジー1(D)	2	ホテルマネジメント 1(D)	2
コーポレート・ストラテジー2(D)	2	ホテルマネジメント 2(D)	2
コーポレート・ストラテジー3(D)	2	ホテルアセットマネジメント 1(D)	2
コーポレート・ストラテジー4(D)	2	ホテルアセットマネジメント 2(D)	2
マーケティング・エッセンシャルズ 1(D)	2	メディカル・ビジネス論(D)	2
マーケティング・エッセンシャルズ 2(D)	2	介護ビジネス論(D)	2
流通システム論 1(D)	2	ホスピタリティデザイン特講 3A(D)	2
流通システム論 2(D)	2	ホスピタリティデザイン特講 3B(D)	2
ビジネス・オーガニゼーション 3(D)	2	ホテルインベストメント 1(D)	2
ビジネス・オーガニゼーション 4(D)	2	ホテルインベストメント 2(D)	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 1(D)	2	ホテルディベロップメント 1(D)	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 2(D)	2	ホテルディベロップメント 2(D)	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 3(D)	2	サービス・マーケティング 1(D)	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 4(D)	2	サービス・マーケティング 2(D)	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 5(D)	2	都市マネジメント 1(D)	2
ヒューマン・リソース・マネジメント 6(D)	2	都市マネジメント 2(D)	2
キャリアデザイン1(D)	2	観光地域経済論 1(D)	2
キャリアデザイン2(D)	2	観光地域経済論 2(D)	2
日本の企業経営(D)	2	観光地マネジメント 1(イノベーション)(D)	2
クリティカル・シンキング(D)	2	観光地マネジメント 2(ネットワーク)(D)	2
スタートアップ・ストラテジー1(D)	2	都市経済学 1(D)	2
スタートアップ・ストラテジー2(D)	2	都市経済学 2(D)	2
Business Case Studies1(D)	2	観光経営研究 1(D)	2
Business Case Studies2(D)	2	観光経営研究 2(D)	2
オペレーション・マネジメント 1(D)	2	マーケティング・リサーチ1(D)	2
オペレーション・マネジメント 2(D)	2	マーケティング・リサーチ2(D)	2
ビジネスデザイン特講 4A(D)	2	ビジネスケースメソッド1(D)	2
ビジネスデザイン特講 4B(D)	2	ビジネスケースメソッド2(D)	2
ネゴシエーション(D)	2	M&A1(D)	2
リーダーシップ論 1(D)	2	M&A2(D)	2
リーダーシップ論 2(D)	2	企業論 1(D)	2

企業論 2(D)	2	データサイエンス1 (D)	2
スモールビジネス1 (D)	2	データサイエンス2 (D)	2
スモールビジネス2 (D)	2	地域イノベーションデザイン (D)	2

博士予備論文の合格を経て博士学位申請論文の合格を必修とする。博士学位申請論文の提出に際し、別途研究科が定める基準を満たしていることを要する。

上記科目より、リサーチワーク A のうち正指導教授が担当する科目 12 単位、リサーチワーク B 6 単位、コースワークより 6 単位、合計 24 単位以上を修得しなければならない。

大学院学則第 6 条（優れた研究業績をあげた者）の規定により標準修業年限を短縮し修了する場合、修業年限 1 年ではリサーチワーク A 4 単位、リサーチワーク B 4 単位、コースワーク 6 単位、合計 14 単位以上、修業年限 1.5 年ではリサーチワーク A 6 単位、リサーチワーク B 6 単位、コースワーク 6 単位、合計 18 単位以上、修業年限 2 年ではリサーチワーク A 8 単位、リサーチワーク B 6 単位、コースワーク 6 単位、合計 20 単位以上、修業年限 2.5 年ではリサーチワーク A 10 単位、リサーチワーク B 6 単位、コースワーク 6 単位、合計 22 単位以上を修得しなければならない。

9 大学院社会デザイン研究科

社会デザイン研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 社会デザイン学専攻（前期課程）

社会デザイン学コース

社会デザイン学特殊研究 1 (社会学原論)	2	社会デザイン学特殊研究 24 (プラットフォームと社会デザイン)	2
社会デザイン学特殊研究 3 (自然学の方法)	2	社会デザイン学特殊研究 25 (オーラルヒストリーとデジタルアーカイブ)	2
社会デザイン学特殊研究 4 (アイデンティティ論)	2	社会デザイン学特殊研究 26 (社会デザイン学の可能性 2)	2
社会デザイン学特殊研究 5 (ライフサイクル論)	2	社会デザイン学特講 1	2
社会デザイン学特殊研究 6 (社会デザイン学への招待)	2	社会デザイン学特講 2	2
社会デザイン学特殊研究 7 (科学コミュニケーション論)	2	社会組織理論演習 1 (社会デザインと社会学の方法)	2
社会デザイン学特殊研究 8 (メディアとしての読書文化論)	2	社会組織理論演習 2 (社会力学論)	2
社会デザイン学特殊研究 9 (21 世紀社会デザインと市民組織)	2	社会組織理論演習 3 (社会的人間存在論)	2
社会デザイン学特殊研究 10 (21 世紀社会デザインと NGO)	2	社会組織理論演習 4 (対話と社会デザイン)	2
社会デザイン学特殊研究 14 (社会デザイン学の可能性 1)	2	社会組織理論演習 5 (持続可能社会と行政ガバナンス)	2
社会デザイン学特殊研究 15 (宗教と社会デザイン)	2	社会組織理論演習 6 (非営利法人制度論)	2
社会デザイン学特殊研究 16 (場づくりファシリテーション実践論)	2	社会組織理論演習 7 (福祉システム論)	2
社会デザイン学特殊研究 17 (リスク学原論)	2	社会組織理論演習 8 (社会を眼差すアートの世界)	2
社会デザイン学特殊研究 18 (論文作成法 I)	2	社会組織理論演習 9 (持続可能社会と地域ガバナンス)	2
社会デザイン学特殊研究 20 (論文作成法 II)	2	社会組織理論演習 10 (芸術文化組織論)	2
社会デザイン学特殊研究 22 (留学生のための学術論文作成法)	2	社会組織理論演習 13 (ライフコースとキャリア)	2
		社会組織理論演習 15 (社会調査法 I)	2

社会組織理論演習 17 (社会調査法Ⅱ)	2	コミュニティデザイン学演習 20 (CSR/ESG 金融総論ー1)	2
社会組織理論演習 19 (市民社会論)	2	コミュニティデザイン学演習 21 (助成と評価)	2
社会組織理論演習 20 (社会組織開発論)	2	コミュニティデザイン学演習 22 (文化政策論 2)	2
社会組織理論演習 21 (地方自治と社会政策)	2	コミュニティデザイン学演習 23 (市民活動と政治)	2
社会組織理論演習 22 (インクルーシブキャピタリズム)	2	コミュニティデザイン学演習 24 (評価の理論と実践 1)	2
社会組織理論演習 23 (コーオウンド・ビジネス)	2	コミュニティデザイン学演習 25 (公共と市民社会)	2
社会組織理論演習 24 (社会課題と対話の実践)	2	コミュニティデザイン学演習 26 (政策立案・評価)	2
社会組織理論演習 25 (ライフストーリーと社会的帰属)	2	コミュニティデザイン学演習 27 (貧困と社会的排除 1)	2
社会組織理論特講1	2	コミュニティデザイン学演習 28 (福祉課題に取り組む実践活動2)	2
社会組織理論特講 2	2	コミュニティデザイン学演習 29 (都市環境生活論)	2
コミュニティデザイン学演習 1 (社会デザインとしての市民活動)	2	コミュニティデザイン学演習 32 (ソーシャル・マーケティング論)	2
コミュニティデザイン学演習 2 (福祉課題に取り組む実践活動1)	2	コミュニティデザイン学演習 33 (ソーシャルキャピタルと地域創造)	2
コミュニティデザイン学演習 3 (社会デザインと福祉課題2)	2	コミュニティデザイン学演習 34 (ソーシャルイノベーションの分析)	2
コミュニティデザイン学演習 4 (ローカリズム原論 1)	2	コミュニティデザイン学演習 36 (コミュニケーションと国際協力 1)	2
コミュニティデザイン学演習 5 (ローカリズム原論 2)	2	コミュニティデザイン学演習 37 (コミュニケーションと国際協力 2)	2
コミュニティデザイン学演習 6 (ローカリズムの可能性)	2	コミュニティデザイン学演習 38 (社会的合意形成とコミュニティ)	2
コミュニティデザイン学演習 7 (アフリカと国際協力)	2	コミュニティデザイン学演習 39 (ジェンダーとコミュニティ)	2
コミュニティデザイン学演習 8 (ボランティア経済論)	2	コミュニティデザイン学演習 40 (サステナブル・コミュニティ論)	2
コミュニティデザイン学演習 9 (資源と環境の経済社会論)	2	コミュニティデザイン学演習 42 (ソーシャルアントレプレナー論)	2
コミュニティデザイン学演習 11 (コミュニティマネジメント論)	2	コミュニティデザイン学演習 43 (CSR基礎論)	2
コミュニティデザイン学演習 12 (ソーシャルビジネス論)	2	コミュニティデザイン学演習 44 (アジア・アフリカの社会デザイン)	2
コミュニティデザイン学演習 13 (ソーシャルイノベーション論)	2	コミュニティデザイン学演習 45 (親密性と現代社会)	2
コミュニティデザイン学演習 14 (文化政策論 1)	2	コミュニティデザイン学演習 48 (社会問題の分析理論)	2
コミュニティデザイン学演習 15 (ソーシャル・ガバナンス論)	2	コミュニティデザイン学演習 49 (市民社会とアーカイブズ)	2
コミュニティデザイン学演習 16 (社会組織とフォロワーシップ)	2	コミュニティデザイン学演習 50 (場の人間学)	2
コミュニティデザイン学演習 17 (ジェンダーとリプロダクション)	2	コミュニティデザイン学演習 51 (現代人類学)	2
コミュニティデザイン学演習 18 (アジア NGO 発展論)	2	コミュニティデザイン学演習 52 (アフリカ地域研究)	2
コミュニティデザイン学演習 19 (アジアの生活と文化)	2		

コミュニティデザイン学演習 53 (CSR/ESG 金融総論-2)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 10 (リスクガバナンス論)	2
コミュニティデザイン学演習 54 (エシカル・ビジネス論)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 11 (リスクコミュニケーション論)	2
コミュニティデザイン学演習 55 (看取り・吊いの社会デザイン)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 12 (環境リスクファイナンス論)	2
コミュニティデザイン学演習 56 (生命技術と21世紀社会)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 13 (危機管理とリーダーシップ論)	2
コミュニティデザイン学演習 57 (社会デザインと福祉課題1)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 14 (情報セキュリティ)	2
コミュニティデザイン学演習 58 (「新しい公共」の社会学)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 15 (リスクマネジメント)	2
コミュニティデザイン学演習 59 (社会課題と企業経営)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 16 (コミュニティガバナンスと社会デザイン)	2
コミュニティデザイン学演習 60 (共生社会の地域マネジメント)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 17 (リスク移転と保険)	2
コミュニティデザイン学演習 61 (ドキュメンタリーと社会デザイン 1)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 18 (ライフサイクルリスク論)	2
コミュニティデザイン学演習 62 (エシカル消費総論-1)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 19 (グローバル社会から考える人権)	2
コミュニティデザイン学演習 63 (聞き書きとコミュニケーション)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 20 (イスラム社会と国際協力)	2
コミュニティデザイン学演習 64 (多様性社会とパーソナリティ類型)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 22 (ホロコースト再考)	2
コミュニティデザイン学演習 65 (映像ジャーナリズム論)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 23 (人間の安全保障論)	2
コミュニティデザイン学演習 66 (デジタル・アーカイブ論)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 24 (メディアと政治・世論)	2
コミュニティデザイン学演習 67 (メディア研究方法論)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 25 (気候変動とリスクマネジメント)	2
コミュニティデザイン学演習 68 (ソーシャルキャリアの理論と実践)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 26 (リスク学と企業の危機管理)	2
コミュニティデザイン学演習 69 (「デジタル化」と社会デザイン)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 27 (人新世の社会デザイン学概論)	2
コミュニティデザイン学演習 70 (文化財保護と社会デザイン)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 28 (事件・事故ケーススタディ)	2
コミュニティデザイン学特講1	2	グローバル・リスクガバナンス演習 29 (災害と事業継続計画 BCP)	2
コミュニティデザイン学特講 2	2	グローバル・リスクガバナンス演習 31 (エシカル消費総論-2)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 1 (防災政策論)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 32 (法務危機[コンプライアンス])	2
グローバル・リスクガバナンス演習 2 (経済学と人間学)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 33 (アジアと平和 1)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 3 (Crisis Management)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 34 (アジアと平和 2)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 4 (ダークツーリズム)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 35 (CSR と企業組織)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 5 (環境政策論)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 36 (コミュニケーションと危機管理 1)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 6 (21世紀のアジア像)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 37 (コミュニケーションと危機管理 2)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 7 (グローバル化の再検証)	2	グローバル・リスクガバナンス演習 38 (人を大切に作る組織・経営倫理論)	2
グローバル・リスクガバナンス演習 8 (国連とグローバル・スキルズ)	2		
グローバル・リスクガバナンス演習 9 (humanitarian intervention)	2		

グローバル・リスクガバナンス演習 39 (日中企業のリスクマネジメント)	2	比較組織ネットワーク学集中演習 6B (グローバル・リスクガバナンス方法論 1B)	1
グローバル・リスクガバナンス演習 40 (企業倫理 A)	2	比較組織ネットワーク学集中演習 8A (コミュニティデザイン学方法論 5A)	1
グローバル・リスクガバナンス演習 41 (企業倫理 B)	2	比較組織ネットワーク学集中演習 8B (コミュニティデザイン学方法論 5B)	1
グローバル・リスクガバナンス演習 42 (避難生活の社会デザイン)	2	比較組織ネットワーク学集中演習 9A (社会組織理論方法論 3A)	1
グローバル・リスクガバナンス演習 43 (アドボカシーとソーシャルイノベーション)	2	比較組織ネットワーク学集中演習 9B (社会組織理論方法論 3B)	1
グローバル・リスクガバナンス演習 44 (自己決定権と意思決定支援)	2	比較組織ネットワーク学集中演習 10A (社会組織理論方法論 1A)	1
グローバル・リスクガバナンス演習 45 (環境人文学)	2	比較組織ネットワーク学集中演習 10B (社会組織理論方法論 1B)	1
グローバル・リスクガバナンス演習 46 (しょうがいを持つ方の社会的包摂)	2	比較組織ネットワーク学集中演習 11A (社会組織理論方法論 2A)	1
グローバル・リスクガバナンス演習 47 (パブリックヘルスと健康科学)	2	比較組織ネットワーク学集中演習 11B (社会組織理論方法論 2B)	1
グローバル・リスクガバナンス特講1	2	比較組織ネットワーク学集中演習 13A	1
グローバル・リスクガバナンス特講 2	2	(コミュニティデザイン学方法論 4A)	
比較組織ネットワーク学集中演習 1A (ネットワーク学方法論 1A)	1	比較組織ネットワーク学集中演習 13B (コミュニティデザイン学方法論 4B)	1
比較組織ネットワーク学集中演習 1B (ネットワーク学方法論 1B)	1	比較組織ネットワーク学集中演習 15A (グローバル・リスクガバナンス方法論 5A)	1
比較組織ネットワーク学集中演習 2A (ネットワーク学方法論 2A)	1	比較組織ネットワーク学集中演習 15B (グローバル・リスクガバナンス方法論 5B)	1
比較組織ネットワーク学集中演習 2B (ネットワーク学方法論 2B)	1	比較組織ネットワーク学集中演習 16A (社会組織理論方法論 5A)	1
比較組織ネットワーク学集中演習 3A (コミュニティデザイン学方法論 1A)	1	比較組織ネットワーク学集中演習 16B (社会組織理論方法論 5B)	1
比較組織ネットワーク学集中演習 3B (コミュニティデザイン学方法論 1B)	1	比較組織ネットワーク学集中演習 17A (社会組織理論方法論 6A)	1
比較組織ネットワーク学集中演習 4A (コミュニティデザイン学方法論 2A)	1	比較組織ネットワーク学集中演習 17B (社会組織理論方法論 6B)	1
比較組織ネットワーク学集中演習 4B (コミュニティデザイン学方法論 2B)	1	社会調査演習	2
比較組織ネットワーク学集中演習 5A (コミュニティデザイン学方法論 3A)	1	統計学演習	2
比較組織ネットワーク学集中演習 5B (コミュニティデザイン学方法論 3B)	1	日本の企業経営	2
比較組織ネットワーク学集中演習 6A (グローバル・リスクガバナンス方法論 1A)	1	日本の産業と経済	2
		日本の政治と行政	2
		日本の法制度と規制	2
		日本の社会と生活・文化	2

修士論文，研究報告書のいずれかを必修とする。上記科目より 30 単位以上を修得しなければならない。

(イ) 社会デザイン学専攻 (前期課程)
公共・社会デザイン学コース

① 選択必修科目

Master's Thesis Supervision 1	2	Master's Thesis Supervision 3	2
Master's Thesis Supervision 2	2	Master's Thesis Supervision 4	2

② 選択科目 1			
Qualitative Research Methods	2	Human Resource Development	2
Philosophy and Ethics	2	Public Administration	2
Corporate Social Responsibilities	2	Research Methodology	2
Organization Theories	2	Japanese Modernity and Development	2
Cooperation with national and transnational Civil Society Organizations	2	Advanced Seminar on Social Development and Administration 1	2
Social Development	2		
③ 選択科目 2			
Disaster Risk Management	2	Public Policy	2
SDGs and Environment	2	Security Sector Analysis and Management	2
Peace, Security and Justice	2	Environmental Policy and Disaster Management	2
Gender Equalities	2	Inequality and Poverty	2
Sustainable Education	2	Development Planning	2
Inclusion	2	Environmental Economics and Policy Analysis	2
Population, Migration and refugee issues	2	Local Initiatives and SDGs	2
Quantitative Methods for Policy Analysis	2	Learning Local Initiatives through Field trips	2
Public Management	2	Advanced Seminar on Social Development and Administration 2	2
Project Cycle Management	2		
Public Private Partnership	2		
Local Government and Public Services	2		
④ 随意科目			
Advanced Seminar1	2	Advanced Seminar2	2

修士論文、研究報告書のいずれかを必修とする。選択必修科目から 4 単位、選択科目 1 から 10 単位、選択科目 2 から 16 単位以上、計 30 単位以上修得しなければならない。

(ウ) 社会デザイン学専攻（後期課程）

< I 群 >			
社会組織理論特別研究 1A	2	コミュニティデザイン学特別研究 3A	2
社会組織理論特別研究 1B	2	コミュニティデザイン学特別研究 3B	2
社会組織理論特別研究 2A	2	コミュニティデザイン学特別研究 4A	2
社会組織理論特別研究 2B	2	コミュニティデザイン学特別研究 4B	2
社会組織理論特別研究 3A	2	危機管理学特別研究 1A	2
社会組織理論特別研究 3B	2	危機管理学特別研究 1B	2
コミュニティデザイン学特別研究 1A	2	危機管理学特別研究 2A	2
コミュニティデザイン学特別研究 1B	2	危機管理学特別研究 2B	2
コミュニティデザイン学特別研究 2A	2	危機管理学特別研究 3A	2
コミュニティデザイン学特別研究 2B	2	危機管理学特別研究 3B	2
< II 群 >			
社会デザイン学主題別研究 1A	2	社会デザイン学主題別研究 5A	2
社会デザイン学主題別研究 1B	2	社会デザイン学主題別研究 5B	2
社会デザイン学主題別研究 2A	2	社会デザイン学主題別研究 6A	2
社会デザイン学主題別研究 2B	2	社会デザイン学主題別研究 6B	2
社会デザイン学主題別研究 3A	2	社会デザイン学主題別研究 7A	2
社会デザイン学主題別研究 3B	2	社会デザイン学主題別研究 7B	2
社会デザイン学主題別研究 4A	2	社会デザイン学主題別研究 8A	2
社会デザイン学主題別研究 4B	2	社会デザイン学主題別研究 8B	2

I 群科目から、正指導教員が担当する科目 12 単位以上、及び副指導教員が担当する科目 12 単位以上を修得して研究指導を受けるとともに、II 群科目から 6 単位以上を修得しなければならない。

10 大学院異文化コミュニケーション研究科

異文化コミュニケーション研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 異文化コミュニケーション専攻（前期課程）

① 必修科目

研究指導演習 A	2	修士論文指導演習 A	2
研究指導演習 B	2	修士論文指導演習 B	2

② 領域共通選択科目

言語教育研究基礎論	2	調査研究方法論 A	2
言語コミュニケーション研究基礎論	2	調査研究方法論 B	2
通訳翻訳研究基礎論	2	Intercultural Communication in Language Teaching	2
コミュニケーション研究基礎論	2	Seminar in Applied Linguistics A	2
異文化コミュニケーション研究基礎論	2	Reserch Methods	2
グローバル文化研究基礎論	2		
国際協力・人類学基礎論	2		

③ 領域選択科目

言語コミュニケーション研究特殊講義 A	2	翻訳演習 1	2
言語コミュニケーション研究特殊講義 B	2	翻訳演習 2	2
言語コミュニケーション研究特殊講義 C	2	通訳翻訳専門実習 A	2
言語コミュニケーション理論	2	通訳翻訳専門実習 B	2
言語教育研究特殊講義 A	2	異文化コミュニケーション理論	2
言語教育研究特殊講義 B	2	コミュニケーション研究特殊講義 A	2
言語教育研究特殊講義 C	2	コミュニケーション研究特殊講義 B	2
言語教育理論 A	2	コミュニケーション研究特殊講義 C	2
言語教育理論 B	2	コミュニケーション研究特殊講義 D	2
Seminar in Language Curriculum C	2	コミュニケーション理論	2
Teaching and Learning Vocabulary	2	人類学特論	2
Psychology of the Language Learner	2	人類学特殊講義A	2
Seminar in Language Curriculum A	2	人類学特殊講義B	2
Seminar in Language Curriculum B	2	グローバル文化研究特論A	2
Seminar in Applied Linguistics B	2	グローバル文化研究特論B	2
Seminar in Applied Linguistics C	2	文化研究特論	2
Bilingualism and Language Contact	2	国際協力特殊講義A	2
通訳翻訳研究特殊講義	2	国際協力特殊講義B	2
通訳翻訳教育論	2	国際協力特論	2
通訳翻訳テクノロジー論	2	文化研究特殊講義A	2
会議通訳入門	2	文化研究特殊講義B	2
会議通訳 1	2	文化研究特殊講義C	2
会議通訳 2	2	文化研究特殊講義D	2
翻訳の原理と方法	2		

修士論文又は課題研究のいずれかを必修とする。必修科目の中から 6 単位、領域共通選択科目 6 単位、領域選択科目 14 単位、自由科目 4 単位以上、計 30 単位以上修得すること。ただし、指定単位を超えて修得した必修科目（2 単位まで）、指定単位を超えて修得した選択科目、及び本学他研究科前期課程科目、平和・コミュニティ研究機構科目、派遣留学・認定校留学制度による単位認定科目、入学前に修得した他大学大学院前期課程科目を自由科目として修了要件単位に算入することができる。

(イ) 異文化コミュニケーション専攻（後期課程）

① 研究指導

研究指導A	研究指導C
研究指導B	研究指導D

② 選択科目

言語教育研究基礎論	2	通訳翻訳研究特殊講義	2
言語コミュニケーション研究基礎論	2	通訳翻訳教育論	2
通訳翻訳研究基礎論	2	通訳翻訳テクノロジー論	2
コミュニケーション研究基礎論	2	会議通訳入門	2
異文化コミュニケーション研究基礎論	2	会議通訳1	2
グローバル文化研究基礎論	2	会議通訳2	2
国際協力・人類学基礎論	2	翻訳の原理と方法	2
調査研究方法論 A	2	翻訳演習1	2
調査研究方法論 B	2	翻訳演習2	2
Intercultural Communication in Language Teaching	2	通訳翻訳専門実習 A	2
Seminar in Applied Linguistics A	2	通訳翻訳専門実習 B	2
Reserch Methods	2	異文化コミュニケーション理論	2
言語コミュニケーション研究特殊講義A	2	コミュニケーション研究特殊講義A	2
言語コミュニケーション研究特殊講義B	2	コミュニケーション研究特殊講義B	2
言語コミュニケーション研究特殊講義C	2	コミュニケーション研究特殊講義C	2
言語コミュニケーション理論	2	コミュニケーション研究特殊講義D	2
言語教育研究特殊講義A	2	コミュニケーション理論	2
言語教育研究特殊講義B	2	人類学特論	2
言語教育研究特殊講義C	2	人類学特殊講義A	2
言語教育理論A	2	人類学特殊講義B	2
言語教育理論B	2	グローバル文化研究特論A	2
Seminar in Language Curriculum C	2	グローバル文化研究特論B	2
Teaching and Learning Vocabulary	2	文化研究特論	2
Psychology of the Language Learner	2	国際協力特殊講義A	2
Seminar in Language Curriculum A	2	国際協力特殊講義B	2
Seminar in Language Curriculum B	2	国際協力特論	2
Seminar in Applied Linguistics B	2	文化研究特殊講義A	2
Seminar in Applied Linguistics C	2	文化研究特殊講義B	2
Bilingualism and Language Contact	2	文化研究特殊講義C	2
		文化研究特殊講義D	2

博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を6学期分以上受けなければならない。また、選択科目の中から6単位以上修得すること。

11 大学院経営学研究科

経営学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 経営学専攻（前期課程）

① 必修科目

経営学概論	2	人材開発・組織開発論 2	2
経営戦略論	2	リーダーシップ教育論	2
戦略的人的資源管理 (パーソルグループ寄附講座)	2	データアナリティクス演習	4
組織行動論	2	リーダーシップ・ファイナル・プロジェクト研究 1	2
人材開発・組織開発論 1	2	リーダーシップ・ファイナル・プロジェクト研究 2	2

② 選択必修科目

リーダーシップ・ウェルカム・プロジェクト研究	2	インターンシップ 1	2
------------------------	---	------------	---

③ 選択科目

ケースで学ぶリーダーシップ	2	研究方法論 1	2
医療とリーダーシップ	2	研究方法論 2	2
戦略的人事実務論 (バーソルグループ寄附講座)	2	インターンシップ 2	2
リーダーシップの理論	2	チームワーク論	2
キャリアとリーダーシップ論	2	人材開発・組織開発実践論	2
リーダーシップワークショップ演習	2	マネジリアル・コーチング論	2
質的研究法	2		

必修科目 22 単位，選択必修科目から 2 単位，選択科目から 6 単位以上を修得する。さらに特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格した者に対し，修士学位を授与する。

(イ) 経営学専攻（後期課程）

① 必修科目

リサーチ・メソドロジーA	2	リサーチ・メソドロジーC	2
リサーチ・メソドロジーB	2		

必修科目 6 単位を取得する。さらに，博士論文作成のため，各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受け，博士論文を提出し，その審査及び最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。

(2) (ア) 国際経営学専攻（前期課程）国際経営学コース

① 必修科目

<ビジネス・プロポーザル・コアコース>			
Module 1	1	Module 4	2
Module 2	2	Module 5	2
Module 3	2	Module 6	1
<Final Research Project>			
Final Research Project	4		

② 選択科目

Human Resource Management in Japan	2	Advanced Seminar in Global Business 3	2
Multinational Enterprises and Strategy in Asia	2	Advanced Seminar in Global Business 4	2
Strategic Technological Innovation in Asia	2	Advanced Seminar in Global Business 5	2
Business Environment: Political Economy of Asia	2	Advanced Seminar in Global Business 6	2
Corporate Social Responsibility: A Japanese Perspective	2	Advanced Seminar in Global Business 7	2
Marketing in Japan	2	Advanced Seminar in Global Business 8	2
Strategic Financial Management	2	Advanced Seminar in Global Business 9	2
Japanese Economy	2	Advanced Seminar in Global Business 10	2
Strategic Communication in Global Business	2	Advanced Seminar in Global Business 11	2
International Sports Business	2	Advanced Seminar in Global Business 12	2
International Sports Finance	2	Advanced Seminar in Global Business 13	2
International Sports Marketing	2	Advanced Seminar in Global Business 14	2
Advanced Topics in Accounting Sustainability	2	Advanced Seminar in Global Business 15	2
Cases in General Management	2	Advanced Seminar in Global Business 16	2
Advanced Seminar in Global Business 1	2	Advanced Seminar in Global Business 17	2
Advanced Seminar in Global Business 2	2	Advanced Seminar in Global Business 18	2
		Advanced Seminar in Global Business 19	2
		Advanced Seminar in Global Business 20	2
		Leadership in Global Organization	2
		Business and Society in Asia	2

Cases in Marketing Strategy and Operations	2	International Financial Management	2
		Good Business Initiative Workshop	2

<言語科目>

Business Japanese I 1	1	Business Japanese A 1	1
Business Japanese I 2	1	Business Japanese A 2	1
Business Japanese I 3	1	Business Japanese A 3	1
Business Japanese I 4	1	Business Japanese A 4	1
Business Japanese I 5	1	Business Japanese A 5	1

<特別研究指導演習科目（随意科目）>

Master's Thesis Supervision 1	2	Master's Thesis Supervision 3	2
Master's Thesis Supervision 2	2	Master's Thesis Supervision 4	2

必修科目から、ビジネス・プロポーザル・コアコース 10 単位、ファイナル・リサーチ・プロジェクト 4 単位、計 14 単位、選択科目（言語科目を除く。）から 16 単位以上を修得する。さらに特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格した者に対し、修士学位を授与する。

(4) 国際経営学専攻（前期課程）公共経営学コース

① 選択必修科目

Master's Thesis Supervision 1	2	Master's Thesis Supervision 3	2
Master's Thesis Supervision 2	2	Master's Thesis Supervision 4	2

② 選択科目 1

Research Methodology	2	Mathematics for Economics and Management	2
Applied Microeconomics	2	Public Administration	2
Statistics for Economics and Management	2	Public Management	2
Applied Econometrics	2	Public Finance and Budgeting	2

③ 選択科目 2

Quantitative Methods for Policy Analysis	2	Development Planning and Policy Evaluation	2
Project Cycle Management	2	Agricultural Economics and Policy Analysis	2
Public Private Partnership	2	Natural Resource Management and Environmental Policy	2
Local Government and Public Services	2	International Finance	2
Public Policy	2	Urban and Regional Economics	2
Japanese Politics	2	Japanese Economy	2
Security Sector Analysis and Management	2	Development Economics	2
Environmental Policy and Disaster Management	2	Asian Economic Development	2
Human Resource Management	2	Applied Macroeconomics	2
Investment and Asset Pricing	2	Cross Section and Panel Data Analysis	2
Financial Accounting and Reporting	2	Special Topics in MPMA	2
Inequality and Poverty	2		

④ 随意科目

Advanced Seminar 1	2	Advanced Seminar 5	2
Advanced Seminar 2	2	Advanced Seminar 6	2
Advanced Seminar 3	2	Advanced Seminar 7	2
Advanced Seminar 4	2	Advanced Seminar 8	2

選択必修科目から 4 単位、選択科目 1 から 10 単位、選択科目 2 から 16 単位以上、計 30 単位以上を修得する。さらに修士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格した者に対し、修士学位を授与する。

12 大学院現代心理学研究科

現代心理学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 心理学専攻（前期課程）

① 必修科目

基礎心理学研究法	2	修士論文指導演習 1	2
応用心理学研究法	2	修士論文指導演習 2	2

② 選択科目 A

認知心理学特殊研究	2	発達心理学特殊研究	2
学習心理学特殊研究	2	現代心理学特殊研究	2
社会心理学特殊研究	2	心理統計法特殊研究	2
産業・組織心理学特殊研究	2	知覚心理学特殊研究	2
応用行動分析学特殊研究	2	認知・身体心理学特殊研究	2

③ 選択科目 B

認知心理学特殊演習	2	英語論文作成演習	2
社会心理学特殊演習	2	知覚心理学特殊演習	2
産業・組織心理学特殊演習	2	現代心理学特殊演習	2
発達心理学特殊演習	2	認知・身体心理学特殊演習	2

④ 選択科目 C

心理臨床特殊研究 1	2	コミュニティ心理学特殊研究	2
心理臨床特殊研究 2	2	心理療法特殊研究	2
精神医学特殊研究	2	学校心理学特殊研究	2

上記科目より、必修科目 8 単位、選択科目（A, B, C）より 22 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目のうち 4 単位までを本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 心理学専攻（後期課程）

選択科目

知覚心理学特殊研究	2	認知・身体心理学特殊研究	2
認知心理学特殊研究	2	発達心理学特殊研究	2
社会心理学特殊研究	2	現代心理学特殊演習	2
産業・組織心理学特殊研究	2		

上記科目より 6 単位以上を修得しなければならない。
博士課程後期課程にあっては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(2) (ア) 臨床心理学専攻（前期課程）

① 必修科目

臨床心理学特論 1	2	臨床心理査定演習 2	2
臨床心理学特論 2	2	臨床心理基礎実習 1	1
臨床心理面接特論 1	2	修士論文指導演習 1	2
(心理支援に関する理論と実践)		修士論文指導演習 2	2
臨床心理面接特論 2	2		
臨床心理査定演習 1	2		
(心理的アセスメントに関する理論と実践)			

② 選択科目

臨床心理学研究法特論	2	コミュニティ・アプローチ特論	2
心理統計法特論 1	2	(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	
心理統計法特論 2	2	臨床心理学特殊研究 1	2
発達心理学特論	2	臨床心理学特殊研究 2	2
(福祉分野に関する理論と支援の展開)		臨床心理学特殊研究 3	2
学習心理学特論	2	臨床心理学特殊研究 4	2
認知心理学特論	2	臨床心理学特殊研究 5	2
社会心理学特論	2	(教育分野に関する理論と支援の展開)	
組織心理学特論	2	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	2
社会病理学特論	2	心の健康教育に関する理論と実践	2
(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)		心理実践実習 1 (基礎)	1
精神医学特論	2	心理実践実習 3	1
(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		心理実践実習 4	1
心身医学特論	2	臨床心理基礎実習 2	1
(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		臨床心理実習 1 (心理実践実習 2)	1
障害児・者心理学特論	2	臨床心理実習 2	1
(福祉分野に関する理論と支援の展開)			

上記科目より、必修科目 17 単位、選択科目 13 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。

(1) 臨床心理学専攻 (後期課程)

必修科目

臨床心理学研究法	2
----------	---

上記科目より 6 単位を修得しなければならない。

博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

(3) (ア) 映像身体学専攻 (前期課程)

① 必修科目

映像身体学原論	2	修士論文指導演習 1	2
映像身体学研究法	2	修士論文指導演習 2	2

② 選択科目

映像身体学特殊研究 1	2	身体論ワークショップ 2	2
映像身体学特殊研究 2	2	身体論ワークショップ 3	2
映像身体学特殊研究 3	2	身体論ワークショップ 4	2
映像身体学特殊研究 4	2	身体論ワークショップ 5	2
映像身体学特殊研究 5	2	身体論ワークショップ 6	2
映像身体学特殊研究 6	2	映像論ワークショップ 1	2
映像身体学特殊研究 7	2	映像論ワークショップ 2	2
映像身体学特殊演習 1	2	映像論ワークショップ 3	2
映像身体学特殊演習 2	2	映像論ワークショップ 4	2
映像身体学特殊演習 3	2	映像論ワークショップ 5	2
映像身体学特殊演習 4	2	舞台制作プロデュース論演習	2
映像身体学特殊演習 5	2	映像制作プロデュース論演習	2
映像身体学特殊演習 6	2	アート・マネジメント論演習	2
映像身体学特殊演習 7	2	映像機器・施設ワークショップ	2
身体論ワークショップ 1	2		

上記科目より、必修科目 8 単位、選択科目 22 単位以上、計 30 単位以上を修得しなければならない。なお、選択科目のうち 4 単位までを本研究科他専攻等の科目をもってかえることができる。

(イ) 映像身体学専攻（後期課程）

選択科目

映像身体学原論	2	映像身体学研究法	2
映像身体学特殊研究1	2	映像身体学特殊演習1	2
映像身体学特殊研究2	2	映像身体学特殊演習2	2
映像身体学特殊研究3	2	映像身体学特殊演習3	2
映像身体学特殊研究4	2	映像身体学特殊演習4	2
映像身体学特殊研究5	2	映像身体学特殊演習5	2
映像身体学特殊研究6	2	映像身体学特殊演習6	2
映像身体学特殊研究7	2	映像身体学特殊演習7	2

上記科目より6単位以上を修得しなければならない。博士課程後期課程にあつては、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

13 大学院キリスト教学研究科

キリスト教学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) キリスト教学専攻（前期課程）

① 選択必修科目

キリスト教学共同演習1	2	キリスト教学共同演習2	2
-------------	---	-------------	---

② 選択科目

アングリカニズム・エキュメニズム研究	2	宗教史・宗教学演習	2
キリスト教倫理学研究	2	キリスト教文化論演習1	2
現代神学思想研究	2	キリスト教文化論演習2	2
古代イスラエル研究	2	宗教人間学演習	2
原始キリスト教研究	2	アジア・キリスト教演習	2
キリスト教史研究	2	宗教教育演習	2
キリスト教美術研究	2	フィールドワーク演習1	2
比較宗教学研究	2	フィールドワーク演習2	2
アジア・キリスト教研究	2	サーヴィスラーニング1	2
フィールドスタディ1	2	サーヴィスラーニング2	2
フィールドスタディ2	2	オルガン演奏法1	2
キリスト教音楽研究1	2	オルガン演奏法2	2
キリスト教音楽研究2	2	合唱・聖歌隊指導法1	2
神学思想演習1	2	合唱・聖歌隊指導法2	2
神学思想演習2	2	声楽基礎演習	2
キリスト教思想史演習	2	会衆賛美論演習1	2
聖書学演習(旧約)1	2	会衆賛美論演習2	2
聖書学演習(旧約)2	2	教会音楽史演習1	2
聖書学演習(新約)1	2	教会音楽史演習2	2
聖書学演習(新約)2	2		

上記科目より、選択必修科目4単位、選択科目26単位以上、計30単位以上を修得しなければならない。なお、10単位までは、本大学院他研究科等の科目をもってかえることができる。

(イ) キリスト教学専攻（後期課程）

キリスト教学共同特別演習1	2	現代神学思想特殊研究	2
キリスト教学共同特別演習2	2	古代イスラエル特殊研究	2
アングリカニズム・エキュメニズム特殊研究	2	原始キリスト教特殊研究	2
キリスト教倫理学特殊研究	2	キリスト教史特殊研究	2

キリスト教美術特殊研究	2	フィールドスタディ 2	2
比較宗教特殊研究	2	キリスト教音楽特殊研究 1	2
アジア・キリスト教特殊研究	2	キリスト教音楽特殊研究 2	2
フィールドスタディ 1	2		

上記科目より、6単位以上を修得しなければならない。また、博士論文作成のため、各自の研究分野に応じて必要な研究指導を受けなければならない。

14 大学院人工知能科学研究科

人工知能科学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) 人工知能科学専攻（前期課程）

①必修科目			
機械学習	2	先端科学技術の倫理	2
深層学習	2	機械学習演習	2
②選択必修科目			
プロジェクトチーム実習 1	3	特別研究 3	3
プロジェクトチーム実習 2	3	修士論文指導演習	3
③選択科目			
データサイエンス概論	2	統計モデリング 2	2
人工知能概論	2	量子情報特論	2
統計モデリング1	2	Python プログラミング	2
複雑ネットワーク科学	2	人工知能科学特別演習	2
情報科学概論	2	深層学習演習 1	2
数理科学概論	2	深層学習演習 2	2
社会情報科学概論	2	社会モデリング演習	2
意思決定の科学	2	輪講1	2
計算機科学概論	2	輪講2	2
人工知能の哲学	2	データサイエンス実習	2
AIビジネス特論	2	フィンテック特論	2
自然言語処理特論	2	人工知能 ELSI	2
人工知能社会実装	2	特別研究 1	3
認識技術特論	2	特別研究 2	3
脳神経科学特論	2		

上記科目より、必修科目 8 単位、選択科目 22 単位（選択必修科目「プロジェクトチーム実習 1」、「プロジェクトチーム実習 2」、「特別研究 3」及び「修士論文指導演習」を含む。）以上、計 30 単位以上を修得するとともに、研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究成果に係る審査及び最終試験に合格すること。

(イ) 人工知能科学専攻（後期課程）

①リサーチワーク科目（研究指導）			
人工知能科学特別研究 1	3	人工知能科学特別研究 5	3
人工知能科学特別研究 2	3	人工知能科学特別研究 6	3
人工知能科学特別研究 3	3	人工知能科学先端演習	2
人工知能科学特別研究 4	3		
②コースワーク科目			
人工知能科学特別講義	2	人工知能科学特別講究 2	2
人工知能科学特別講究 1	2	社会情報科学概論(D)	2

計算機科学概論(D)	2	量子情報特論(D)	2
統計モデリング1(D)	2	深層学習演習1(D)	2
統計モデリング2(D)	2	深層学習演習2(D)	2
複雑ネットワーク科学(D)	2	人工知能科学特別演習(D)	2
自然言語処理特論(D)	2	データサイエンス実習(D)	2
脳神経科学特論(D)	2		

上記科目より、リサーチワーク科目（研究指導）20単位、コースワーク科目を6単位、計26単位以上を修得した上で、博士論文を提出し、その審査および最終試験に合格すること。

15 大学院スポーツウエルネス学研究科

スポーツウエルネス学研究科における授業科目及び単位数並びに研究指導の履修方法を次のとおりとする。

(1) (ア) スポーツウエルネス学専攻（前期課程）

① 必修科目

研究基礎	2	研究指導 2	2
プロジェクト研究	2	研究指導 3	2
研究指導 1	2		

② 選択科目

スポーツウエルネス研究 1（スポーツ社会学）	2	スポーツウエルネス研究 14（トレーナー科学）	2
スポーツウエルネス研究 2（野外教育、環境教育）	2	スポーツウエルネス研究 15（データサイエンス）	2
スポーツウエルネス研究 3（トレーニング科学、コーチング）	2	スポーツウエルネス研究 16（ウエルネス科学）	2
スポーツウエルネス研究 4（環境生理学、神経科学）	2	スポーツウエルネス研究 17（アダプテッド・スポーツ）	2
スポーツウエルネス研究 5（ウエルネスセンター学）	2	スポーツウエルネス研究 18（スポーツメディア）	2
スポーツウエルネス研究 6（スポーツ栄養学）	2	スポーツウエルネス研究 19（環境教育）	2
スポーツウエルネス研究 7（スポーツ医学）	2	スポーツウエルネス研究 20（スポーツマネジメント、スポーツ産業）	2
スポーツウエルネス研究 8（健康心理学）	2	スポーツウエルネス研究 21（スポーツ文化と教育）	2
スポーツウエルネス研究 9（バイオメカニクス）	2	スポーツウエルネス研究 22（アスレティックトレーニング学、コンディショニング）	2
スポーツウエルネス研究 10（スポーツ・運動心理学）	2	スポーツウエルネス研究 23（抗加齢医学、時間医療科学）	2
スポーツウエルネス研究 11（スポーツ方法学）	2	スポーツウエルネス研究 24（ウエルネス医学）	2
スポーツウエルネス研究 12（分子細胞生物学）	2		
スポーツウエルネス研究 13（スポーツマネジメント）	2		

スポーツウエルネス研究 3, 6, 7, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 20, 22 をスポーツ分野科目とする。
スポーツウエルネス研究 1, 2, 4, 5, 8, 12, 16, 17, 18, 19, 21, 23, 24 をウエルネス分野科目とする。

必修科目から10単位、選択必修科目としてスポーツ分野科目から8単位、ウエルネス分野科目から8単位の計16単位、選択科目としてスポーツ分野科目、ウエルネス分野科目、他研究科開講科目等から4単位の合計30単位以上を修得することに加え、修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格した者に対し、修士の学位を授与する。

(イ) スポーツウエルネス学専攻（後期課程）

① 選択科目

スポーツウエルネス研究 1（スポーツ社会学）	2	スポーツウエルネス研究 8（健康心理学）	2
スポーツウエルネス研究 2（野外教育、環境教育）	2	スポーツウエルネス研究 9（バイオメカニクス）	2
スポーツウエルネス研究 3（トレーニング科学、コーチング）	2	スポーツウエルネス研究 10（スポーツ・運動心理学）	2
スポーツウエルネス研究 4（環境生理学、神経科学）	2	スポーツウエルネス研究 11（スポーツ方法学）	2
スポーツウエルネス研究 5（ウエルネスセンター学）	2	スポーツウエルネス研究 12（分子細胞生物学）	2
スポーツウエルネス研究 6（スポーツ栄養学）	2	スポーツウエルネス研究 13（スポーツマネジメント）	2
スポーツウエルネス研究 7（スポーツ医学）	2	スポーツウエルネス研究 14（トレーナー科学）	2

スポーツウエルネス研究 15(データサイエンス)	2	スポーツウエルネス研究 21(スポーツ文化と教育)	2
スポーツウエルネス研究 16(ウエルネス科学)	2	スポーツウエルネス研究 22(アスレティックトレーニング学、コンディショニング)	2
スポーツウエルネス研究 17(アダプテッド・スポーツ)	2	スポーツウエルネス研究 23(抗加齢医学、時間医療科学)	2
スポーツウエルネス研究 18(スポーツメディア)	2	スポーツウエルネス研究 24(ウエルネス医学)	2
スポーツウエルネス研究 19(環境教育)	2		

スポーツウエルネス研究 3, 6, 7, 9, 10, 11, 13, 14, 15, 22 をスポーツ分野科目とする。
 スポーツウエルネス研究 1, 2, 4, 5, 8, 12, 16, 17, 18, 19, 21, 23, 24 をウエルネス分野科目とする。

博士課程後期課程に 3 年以上在学し、選択必修科目としてスポーツ分野科目から 2 単位、ウエルネス分野科目から 2 単位の計 4 単位、選択科目としてスポーツ分野科目、ウエルネス分野科目、他研究科開講科目等から 2 単位の合計 6 単位以上を修得し、かつ学位論文作成等に対する指導（研究指導）を受け、中間報告等により途中経過の確認の後、博士論文を提出しその審査および最終試験に合格した者に博士の学位を授与する。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、博士課程後期課程に 1 年以上在学すれば足りるものとする。

別表2 (第22条関係)

入学検定料	35,000円
-------	---------

別表3の1 (第30条関係)

入学金	225,000円
-----	----------

備考

- 1 本学の学部又は大学院研究科に過去に入学金を納入し、卒業、修了又は退学したことがある者が、文学研究科、経済学研究科、理学研究科、社会学研究科、法学研究科、観光学研究科、コミュニティ福祉学研究科、異文化コミュニケーション研究科、経営学研究科（国際経営学専攻公共経営学コースを除く。）、キリスト教学研究科、現代心理学研究科、若しくはスポーツウエルネス学研究科前期課程・後期課程に入学する場合は、2分の1相当額を納めることとする。ただし、本学の大学院研究科前期課程又は法務研究科の修了者が、後期課程に入学する場合は、徴収しない。
- 2 本学の学部又は大学院研究科に過去に入学金を納入し、卒業、修了したことがある者がビジネスデザイン研究科、社会デザイン研究科又は人工知能科学研究科に入学する場合は、徴収しない。また、退学したことがある者が入学する場合は、2分の1相当額を納めることとする。
- 3 経営学研究科国際経営学専攻公共経営学コース、社会デザイン研究科社会デザイン学専攻公共・社会デザイン学コースに入学する場合は、徴収しない。
- 4 再入学の場合は、2分の1相当額を納めなければならない。ただし、経営学研究科国際経営学専攻公共経営学コース、社会デザイン研究科社会デザイン学専攻公共・社会デザイン学コースに入学する場合は、徴収しない。

別表3の2 (第30条関係)

	文学・コミュニティ福祉学・キリスト教学・異文化コミュニケーション研究科				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	690,000円	690,000円	664,500円	664,500円	664,500円
合計	690,000円	690,000円	664,500円	664,500円	664,500円

	経済学・社会学・法学・観光学研究科				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	683,000円	683,000円	658,000円	658,000円	658,000円
合計	683,000円	683,000円	658,000円	658,000円	658,000円

	経営学研究科経営学専攻				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	1,175,000円	1,175,000円	658,000円	658,000円	658,000円
合計	1,175,000円	1,175,000円	658,000円	658,000円	658,000円

	経営学研究科国際経営学専攻 (公共経営学コースを除く)	
	前期課程	
	1年次	2年次
授業料	683,000円	683,000円
合計	683,000円	683,000円

	経営学研究科国際経営学専攻 (公共経営学コース)	
	前期課程	
	1年次	2年次
授業料	1,800,000円	1,800,000円
合計	1,800,000円	1,800,000円

	現代心理学研究科 (臨床心理学専攻を除く)				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	723,000円	723,000円	696,500円	696,500円	696,500円
実験・実習費	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
合計	738,000円	738,000円	711,500円	711,500円	711,500円

	現代心理学研究科臨床心理学専攻				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	723,000円	723,000円	696,500円	696,500円	696,500円
実験・実習費	30,000円	30,000円	15,000円	15,000円	15,000円
合計	753,000円	753,000円	711,500円	711,500円	711,500円

	理学研究科 (数学専攻)				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	787,000円	787,000円	733,000円	733,000円	733,000円
合計	787,000円	787,000円	733,000円	733,000円	733,000円

	理学研究科 (物理学・生命理学専攻)				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	787,000円	787,000円	733,000円	733,000円	733,000円
実験・実習費	40,000円	40,000円	40,000円	40,000円	40,000円
合計	827,000円	827,000円	773,000円	773,000円	773,000円

	理学研究科 (化学専攻)				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	787,000円	787,000円	733,000円	733,000円	733,000円
実験・実習費	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円	80,000円
合計	867,000円	867,000円	813,000円	813,000円	813,000円

	スポーツウエルネス学研究科		
	前期課程		
	1年次	2年次 (2023年度入学者)	2年次 (2022年度以前入学者)
授業料	723,000円	723,000円	690,000円
実験・実習費	15,000円	15,000円	0円
合計	738,000円	738,000円	690,000円

	スポーツウエルネス学研究科		
	後期課程		
	1年次	2年次	1年次
授業料	696,500円	696,500円	664,500円
実験・実習費	15,000円	15,000円	0円
合計	711,500円	711,500円	664,500円

	ビジネスデザイン・社会デザイン研究科 (社会デザイン学専攻公共・社会デザイン学コースを除く)				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円
合計	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円

	社会デザイン研究科 (社会デザイン学専攻公共・社会デザイン学コース)	
	前期課程	
	1年次	2年次
授業料	1,800,000円	1,800,000円
合計	1,800,000円	1,800,000円

	人工知能科学研究科				
	前期課程		後期課程		
	1年次	2年次	1年次	2年次	3年次
授業料	1,500,000円	1,500,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円
合計	1,500,000円	1,500,000円	1,043,000円	1,043,000円	1,043,000円

備考

- 1 授業料は在籍料 120,000 円（半期 60,000 円）を含むものとし、休学の場合は在籍料のみ徴収する。
- 2 理学研究科の者で下記に該当するものについては、実験・実習費を徴収しない。
 - ①数学専攻の者
 - ②物理学専攻の者で履修要項の定めるところにより実験を履修しないもの
 - ③在学留学中の者

別表3の3 削除

別表3の4 削除

別表4（第35条関係）

項	目	邦文	英文
入	学 証 明 書 (1通につき)	300円	400円
退	学 証 明 書 (1通につき)	300円	400円
在	学 証 明 書 (1通につき)	300円	400円
修	了 (見 込) 証 明 書 (1通につき)	300円	400円
成	績 証 明 書 (1通につき)	300円	400円
修	了 証 明 書 (1通につき)	300円	
単	位 修 得 証 明 書 (1通につき)	300円	
学	力 に 関 す る 証 明 書 (1通につき)	300円	
教	育 職 員 免 許 状 取 得 見 込 証 明 書 (1通につき)	300円	
公	認 心 理 師 試 験 修 了 証 明 書 ・ 科 目 履 修 証 明 書 (1通につき)	300円	
臨	床 心 理 士 受 験 申 請 資 格 証 明 書 (1通につき)	300円	
科	目 等 履 修 証 明 書 (1通につき)	300円	400円
聴	講 証 明 書 (1通につき)	300円	400円
学	士 号 証 明 書 (1通につき)	300円	400円
調	査 書 (1通につき)	300円	
学	生 証 再 発 行 (1通につき)	2,000円	
通	学 定 期 乗 車 券 発 行 控 (1通につき)	300円	
科	目 等 履 修 生 証 再 発 行 (1通につき)	2,000円	
教	育 職 員 免 許 状 大 学 一 括 申 請 手 数 料 (1通につき)	800円	
学	校 図 書 館 司 書 教 諭 講 習 申 込 手 数 料 (1通につき)	800円	
学	位 記 等 再 発 行 (1通につき)	20,000円	
そ	の 他 の 証 明 書 (1通につき)	300円	400円

別表 5 (第 37 条関係)

特別聴講料	別に定める
-------	-------

別表 6 (第 38 条関係)

選考料	12,000 円
委託料	別に定める
登録料	40,000 円 (年額)
受講料 (1 単位につき)	38,000 円

備 考

- 1 本学の学部又は大学院研究科を卒業、修了したことがある者及び特別外国人学生として在籍したことがある者の選考料及び登録料については 2 分の 1 額とする。
- 2 ビジネスデザイン研究科及び社会デザイン研究科科目の受講料 (1 単位につき) は、58,000 円とする。人工知能科学研究科科目の受講料 (1 単位につき) は、83,000 円とする。
- 3 ビジネスデザイン研究科を修了し、同研究科の審査を経た学生が、同研究科科目を半期 10 単位受講する場合は 357,000 円 (登録料及び受講料) とする。また、同研究科科目を年間 20 単位 (半期 10 単位ずつ) 受講する場合、受講料を 594,000 円 (登録料及び受講料) とする。ただし同一年度内において半期の受講を繰り返すときは、それぞれの受講料が必要であり、また半期と年間の受講を変更したとしても差額の減免や返金は行わない。
- 4 他の教育研究機関との協定により科目等履修生を受け入れる場合、本表にかかわらず、当該協定に基づき選考料、委託料、登録料及び受講料を協定による金額とすることができる。

別表 7 (第 38 条の 2, 第 38 条の 4 関係)

登録料	60,000 円
-----	----------

別表 7 の 2 (第 38 条の 3 関係)

登録料	年間 40,000 円
	半期 20,000 円

別表 8 (第 1 条関係)

研究科	教育研究上の目的
文学研究科	文学研究科は、学士課程教育における一般的ならびに専門的教養の上に、文学、史学、超域文化学、教育学、比較文明学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
経済学研究科	経済学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、経済、経済政策、会計を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
理学研究科	理学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、理学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
社会学研究科	社会学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、社会学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
法学研究科	法学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、法学、政治学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
観光学研究科	観光学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、観光学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。

コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、コミュニティ福祉学、コミュニティ政策学、スポーツウエルネス学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、経営学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
社会デザイン研究科	社会デザイン研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、社会デザイン学、公共・社会デザイン学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、異文化コミュニケーション学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
経営学研究科	経営学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、経営学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
現代心理学研究科	現代心理学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、心理学、臨床心理学、映像身体学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
キリスト教学研究科	キリスト教学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、キリスト教学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
人工知能科学研究科	人工知能科学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、人工知能科学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学研究科は、学士課程教育における一般的並びに専門的教養の上に、スポーツウエルネス学を研究し、その深奥を究め、かつ、キリスト教に基づいて人格を陶冶し文化の進展に寄与することを目的とする。